

令和元年度

庄原市公営企業会計
決算審査意見書

庄原市監査委員

庄 監 第 26 号
令和 2 年 8 月 25 日

庄原市長 木山 耕三 様

庄原市監査委員 高野 美則
同 横路 政之

令和元年度庄原市公営企業会計決算審査意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により、審査に付された令和元年度庄原市公営企業会計（水道事業会計・国民健康保険病院事業会計）の決算及び証書類その他政令で定める書類を審査した結果について、次のとおり意見を提出します。

目 次

| | | |
|----------------|--------------|----|
| 第1 | 審 査 の 対 象 | 1 |
| 第2 | 審 査 の 期 間 | 1 |
| 第3 | 審 査 の 方 法 | 1 |
| 第4 | 審 査 の 結 果 | 1 |
| 《水道事業会計》 | | |
| 1 | 業務の概要 | 2 |
| 2 | 予算の執行状況 | 3 |
| 3 | 経営成績（損益計算書） | 7 |
| 4 | 財政状態（貸借対照表） | 10 |
| 5 | 企業債 | 11 |
| 6 | キャッシュ・フローの状況 | 12 |
| 7 | 経営分析比率 | 14 |
| | む す び | 15 |
| | 決算審査資料 | 17 |
| 《国民健康保険病院事業会計》 | | |
| 1 | 業務の概要 | 30 |
| 2 | 予算の執行状況 | 32 |
| 3 | 経営成績（損益計算書） | 35 |
| 4 | 財政状態（貸借対照表） | 39 |
| 5 | 企業債 | 41 |
| 6 | キャッシュ・フローの状況 | 41 |
| 7 | 経営分析比率 | 43 |
| | む す び | 44 |
| | 決算審査資料 | 45 |

(注)

- 1 本文中の金額及び表中の金額は、原則として円単位とし、千円単位とした数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計額と内訳の計が一致しない場合がある。
- 2 金額以外の数値は、表示未満の端数を四捨五入しているため、合計欄の数値と内訳の計が一致しない場合がある。
- 3 本文中のポイントは、パーセンテージ間又は指数間の単純差引き数値である。

令和元年度庄原市公営企業会計決算審査意見

第1 審査の対象

令和元年度庄原市水道事業会計決算

令和元年度庄原市国民健康保険病院事業会計決算

第2 審査の期間

令和2年6月1日から令和2年8月21日まで

第3 審査の方法

決算審査にあたっては、送付を受けた決算報告書及び財務諸表等が地方公営企業法、その他の関係法令の定めに従って作成されているか、その計数が関係諸帳簿の計数と一致しているか、併せてこれらの決算諸表が、企業の財政状態及び経営成績を適正に表示しているかを審査した。

また、経営内容の推移を把握するために、各種の比較比率を求め決算内容を分析し、過年度の財政状態及び経営成績との比較検討を行った。

第4 審査の結果

審査に付された決算報告書及び財務諸表等は、それぞれ関係法令に準拠して適正に作成されており、その計数は関係諸帳簿と符合して正確であり、当年度における経営成績と当年度末における財政状態を適正に表示しているものと認めた。

また、会計処理については、おおむね適正に行われているものと認めた。

なお、審査結果とその概要及び意見は次のとおりである。

水道事業会計

1 業務の概要

(1) 業務の状況

本市の水道事業を取り巻く環境は、引き続き人口減少による給水人口の減少、市民の節水意識の浸透や節水機器の導入等により水需要が年々減少傾向にある中、老朽管の更新や水道施設の耐震化等による資金需要の増大が見込まれるという厳しい経営環境にあるものの、安全で良質な水の安定供給に努められている。

平成27年度以降の業務及び用途別使用水量の推移は、第1表及び第2表のとおりである。

給水戸数は11,263戸で、前年度に比べ71戸（0.6%）減少し、また、給水人口は26,132人で、前年度に比べ312人（1.2%）減少している。

有収率は87.15%で、全国平均（総務省編「平成30年度水道事業経営指標」）81.20%を上回っている。

用途別使用水量（有収水量）は、全用途で減少し、特に工場用は67,824m³で、大口需要者の倒産により、前年度に比べ48,687m³（41.8%）減少している。

<第1表> 業務の推移

| 区 分 | 単位 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 | 平成27年度 | 前年度比較 | |
|---------------|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| | | | | | | | 増 減 | 増減率(%) |
| 行政区域内人口 | 人 | 34,559 | 35,241 | 35,910 | 22,844 | 23,101 | △ 682 | △ 1.9 |
| 給 水 人 口 | 人 | 26,132 | 26,444 | 26,746 | 21,725 | 21,730 | △ 312 | △ 1.2 |
| 給 水 戸 数 | 戸 | 11,263 | 11,334 | 11,424 | 9,230 | 9,159 | △ 71 | △ 0.6 |
| 行政区域内普及率 | % | 75.62 | 75.04 | 74.48 | 95.10 | 94.07 | 0.58 | — |
| 1 日 配 水 能 力 | m ³ | 19,320 | 19,320 | 19,320 | 15,910 | 13,500 | 0 | 0.0 |
| 総 配 水 量 | m ³ | 3,210,590 | 3,323,334 | 3,347,661 | 2,661,361 | 2,785,304 | △ 112,744 | △ 3.4 |
| 1 日 平 均 配 水 量 | m ³ | 8,772 | 9,105 | 9,172 | 7,291 | 7,631 | △ 333 | △ 3.7 |
| 1 日 最 大 配 水 量 | m ³ | 11,050 | 12,457 | 11,991 | 8,713 | 10,670 | △ 1,407 | △ 11.3 |
| 有 収 水 量 | m ³ | 2,798,016 | 2,914,571 | 2,911,361 | 2,362,446 | 2,401,833 | △ 116,555 | △ 4.0 |
| 有 収 率 | % | 87.15 | 87.70 | 86.97 | 88.77 | 86.23 | △ 0.55 | — |
| 職 員 数 | 人 | 18 | 19 | 19 | 19 | 19 | △ 1 | △ 5.3 |

※1 行政区域内普及率＝（給水人口÷行政区域内人口）×100

2 有収率＝（有収水量÷総配水量）×100

3 区分の行政区域内人口は、平成27年度から平成28年度までは給水区域内人口を記載している。

<第2表> 用途別使用水量（有収水量）の推移

（単位：m³、%）

| 用 途 別 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 | 平成27年度 | 前年度比較 | |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
| | | | | | | 増 減 | 増減率 |
| 家 事 用 | 1,752,309 | 1,797,385 | 1,795,189 | 1,394,375 | 1,396,326 | △ 45,076 | △ 2.5 |
| 業 務 用 | 971,023 | 992,414 | 1,001,465 | 851,659 | 889,733 | △ 21,391 | △ 2.2 |
| 共 用 | 5,199 | 6,428 | 6,213 | 2,379 | 2,240 | △ 1,229 | △ 19.1 |
| 工 場 用 | 67,824 | 116,511 | 105,767 | 112,044 | 111,753 | △ 48,687 | △ 41.8 |
| 臨 時 用 | 1,661 | 1,833 | 2,727 | 1,989 | 1,781 | △ 172 | △ 9.4 |
| 合 計 | 2,798,016 | 2,914,571 | 2,911,361 | 2,362,446 | 2,401,833 | △ 116,555 | △ 4.0 |

(2) 施設の利用状況

施設利用率は、1日配水能力に対する1日平均配水量の割合を示すもので、施設の利用状況を総合的に判断するうえで重要な指標であり、前年度に比べ1.7ポイント減少し45.4%となっている。全国平均55.5%と比較すると10.1ポイント下回っている。

最大稼働率は、施設の利用及び投資の適正化をみる指標であり、前年度に比べ7.3ポイント減少し57.2%となっている。全国平均69.0%と比較すると11.8ポイント下回っている。

また、関連する負荷率は、施設が年間を通して有効に利用されているかをみる指標であり、前年度に比べ6.3ポイント増加し79.4%となっている。全国平均80.4%と比較すると1.0ポイント下回っている。

<第3表> 施設利用率等の推移

(単位：%)

| 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 | 平成27年度 | 全国平均 |
|---|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 施設利用率： $\frac{1日平均配水量}{1日配水能力} \times 100$ | 45.4 | 47.1 | 47.5 | 45.8 | 56.5 | 55.5 |
| 最大稼働率： $\frac{1日最大配水量}{1日配水能力} \times 100$ | 57.2 | 64.5 | 62.1 | 54.8 | 79.0 | 69.0 |
| 負荷率： $\frac{1日平均配水量}{1日最大配水量} \times 100$ | 79.4 | 73.1 | 76.5 | 83.7 | 71.5 | 80.4 |

※全国平均は総務省編「平成30年度水道事業経営指標」の数値を引用している。

(3) 建設改良等の状況（税込）

取水浄水設備関係では、口和支所ほか2箇所水道監視設備更新工事6,545千円、川西浄水場1号送水ポンプ更新工事3,773千円等が実施されている。

また、平成30年度から令和元年度にかけて明賀池既設堤体対策工事を行っており、令和元年度は流路工事及び堤体中央部スリット工事94,903千円が実施されている。

送水配水設備関係では、既設老朽管の布設替工事6路線75,178千円、残留塩素計取替更新工事4,400千円、宮ノ段加圧ポンプ取替更新工事2,662千円等が実施されている。

水道拡張関係では、維持管理業務の集約によるコストの縮減を目的とした庄原地区から総領地区への連絡送水施設整備事業として、地質調査業務委託3,040千円、加圧ポンプ所・配水調整池実施設計業務委託7,416千円等が実施されている。

地区水道整備関係では、本村地区塩害対策事業として配水管布設工事3,930千円が実施されている。

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出（予算第3条）

収益的収支の予算執行状況についてみると、収入では予算額1,193,097千円に対し、決算額1,191,094,749円（税込）である。

収入の主なものは、給水収益(水道料金)706,559,476円、長期前受金戻入269,050,297円である。

支出では予算額1,140,610千円に対し、決算額1,092,081,843円（税込）で執行率95.7%、不用額

44,513,157円を生じている。

支出の主なものは、営業費用の減価償却費529,709,321円、原水及び浄水費233,609,989円、配水及び給水費102,838,228円である。

なお、令和2年度への繰越額4,015千円は、地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越分で、係争に係る弁護士費用220千円、高野地区給水計画検討業務委託料3,795千円である。

<第4表> 収益的収支の状況

収 入

(単位：円、%)

| 区 分 | 予算現額 | 決 算 額 | 予算現額対決算額 | |
|-----------|---------------|---------------|-------------|-------|
| | | | 増 減 額 | 比 率 |
| 営 業 収 益 | 707,173,000 | 707,327,976 | 154,976 | 100.0 |
| 給 水 収 益 | 706,285,000 | 706,559,476 | 274,476 | 100.0 |
| その他の営業収益 | 888,000 | 768,500 | △ 119,500 | 86.5 |
| 営 業 外 収 益 | 485,924,000 | 483,766,773 | △ 2,157,227 | 99.6 |
| 受取利息及び配当金 | 844,000 | 914,386 | 70,386 | 108.3 |
| 他会計補助金 | 182,240,000 | 182,239,659 | △ 341 | 100.0 |
| 長期前受金戻入 | 269,492,000 | 269,050,297 | △ 441,703 | 99.8 |
| 手 数 料 | 18,321,000 | 16,436,000 | △ 1,885,000 | 89.7 |
| 加 入 金 | 8,333,000 | 8,463,200 | 130,200 | 101.6 |
| 雑 収 益 | 6,694,000 | 6,663,231 | △ 30,769 | 99.5 |
| 合 計 | 1,193,097,000 | 1,191,094,749 | △ 2,002,251 | 99.8 |

支 出

(単位：円、%)

| 区 分 | 予算現額 | 決 算 額 | 地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額 | 不 用 額 | 執行率 |
|------------|---------------|---------------|-------------------------|------------|-------|
| | | | | | |
| 原水及び浄水費 | 243,594,000 | 233,609,989 | 0 | 9,984,011 | 95.9 |
| 配水及び給水費 | 110,315,000 | 102,838,228 | 0 | 7,476,772 | 93.2 |
| 業 務 費 | 47,761,000 | 44,968,042 | 220,000 | 2,572,958 | 94.2 |
| 総 係 費 | 91,147,000 | 78,652,490 | 3,795,000 | 8,699,510 | 86.3 |
| 減 価 償 却 費 | 529,769,000 | 529,709,321 | 0 | 59,679 | 100.0 |
| 資 産 減 耗 費 | 17,857,000 | 16,588,840 | 0 | 1,268,160 | 92.9 |
| その他営業費用 | 20,000 | 0 | 0 | 20,000 | 0.0 |
| 営 業 外 費 用 | 99,847,000 | 85,714,933 | 0 | 14,132,067 | 85.8 |
| 支 払 利 息 | 73,656,000 | 73,457,345 | 0 | 198,655 | 99.7 |
| 消費税及び地方消費税 | 25,071,000 | 12,182,600 | 0 | 12,888,400 | 48.6 |
| 雑 支 出 | 1,120,000 | 74,988 | 0 | 1,045,012 | 6.7 |
| 予 備 費 | 300,000 | 0 | 0 | 300,000 | 0.0 |
| 予 備 費 | 300,000 | 0 | 0 | 300,000 | 0.0 |
| 合 計 | 1,140,610,000 | 1,092,081,843 | 4,015,000 | 44,513,157 | 95.7 |

(2) 資本的収入及び支出（予算第4条）

資本的収支の予算執行状況についてみると、収入では予算額245,066千円に対し、決算額226,499,617円（税込）である。

収入の主なものは、負担金142,099,617円（配水管工事負担金、本村地区水道施設整備事業工事負担金、企業債償還元金等の一般会計負担金）である。

支出では予算額715,629千円に対し、決算額660,886,775円（税込）で、執行率92.4%、不用額29,329,225円を生じている。

支出の主なものは、企業債償還元金287,078,255円、建設改良費の取水浄水設備費242,584,600円である。

なお、令和2年度への繰越額25,413千円は、地方公営企業法第26条第1項の規定による繰越分で、駅前土地区画整理事業に伴う配水管支障移転工事7,000千円外2事業である。

収支の結果、434,387,158円の収入不足額を生じているが、この不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額22,137,925円、過年度分損益勘定留保資金31,209,414円、当年度分損益勘定留保資金277,273,212円、建設改良積立金取崩103,766,607円で全額補填されている。

<第5表> 資本的収支の状況

収入

(単位：円、%)

| 区 分 | 予 算 額 | 継続費 通次繰越額に係る財源充当額 | 予算現額 | 決 算 額 | 予算現額対決算額 | |
|-------|-------------|-------------------|-------------|-------------|--------------|-------|
| | | | | | 増 減 額 | 比率 |
| 企 業 債 | 84,400,000 | 0 | 84,400,000 | 84,400,000 | 0 | 100.0 |
| 負 担 金 | 160,666,000 | 0 | 160,666,000 | 142,099,617 | △ 18,566,383 | 88.4 |
| 合 計 | 245,066,000 | 0 | 245,066,000 | 226,499,617 | △ 18,566,383 | 92.4 |

支出

(単位：円、%)

| 区 分 | 予 算 額 | 継 続 費 通次繰越額 | 予算現額 | 決 算 額 | 地方公営企業法第26条第1項の規定による繰越額 | 不 用 額 | 執行率 |
|---------|-------------|----------------|-------------|-------------|-------------------------|------------|-------|
| 建設改良費 | 310,173,000 | 117,877,000 | 428,050,000 | 373,808,520 | 25,413,000 | 28,828,480 | 87.3 |
| 取水浄水設備費 | 141,790,000 | 117,877,000 | 259,667,000 | 242,584,600 | 0 | 17,082,400 | 93.4 |
| 配水設備費 | 144,412,000 | 0 | 144,412,000 | 113,838,120 | 25,413,000 | 5,160,880 | 78.8 |
| 営業設備費 | 393,000 | 0 | 393,000 | 249,080 | 0 | 143,920 | 63.4 |
| 水道拡張費 | 19,647,000 | 0 | 19,647,000 | 13,206,600 | 0 | 6,440,400 | 67.2 |
| 地区水道整備費 | 3,931,000 | 0 | 3,931,000 | 3,930,120 | 0 | 880 | 100.0 |
| 企業債償還元金 | 287,079,000 | 0 | 287,079,000 | 287,078,255 | 0 | 745 | 100.0 |
| 企業債償還元金 | 287,079,000 | 0 | 287,079,000 | 287,078,255 | 0 | 745 | 100.0 |
| 予 備 費 | 500,000 | 0 | 500,000 | 0 | 0 | 500,000 | 0.0 |
| 予 備 費 | 500,000 | 0 | 500,000 | 0 | 0 | 500,000 | 0.0 |
| 合 計 | 597,752,000 | 117,877,000 | 715,629,000 | 660,886,775 | 25,413,000 | 29,329,225 | 92.4 |

(3) 企業債（予算第5条）

企業債の借入は次のとおりで、議決予算（84,400千円）に定められた範囲内で執行され、建設改良事業に充当されている。その内訳は、配水管布設替分71,300千円、総領地区連絡送水施設整備分13,100千円である。

<第6表>

(単位：円、%)

| 目 的 | 限 度 額 | 借 入 額 | 資 金 別 | 利 率 | 償 還 |
|-------------|------------|------------|------------|-----|---------------------|
| 建 設 改 良 事 業 | 84,400,000 | 71,300,000 | 地方公共団体金融機構 | 0.3 | 30年 |
| | | 13,100,000 | | | 25年 (5年間の元金償還猶予) |
| 合 計 | 84,400,000 | 84,400,000 | — | — | — |

(4) 一時借入金（予算第6条）

限度額は100,000千円であるが、当年度中の借り入れはない。

(5) 議会の議決を経なければ流用できない経費（予算第8条）

議会の議決を経なければ流用できない経費は、職員給与費であるが、流用はなく議決予算額の範囲内で執行されている。

<第7表>

(単位：円、%)

| 区 分 | 議決予算額 | 決 算 額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|-----------|-------------|-------------|-----------|-------|
| 職 員 給 与 費 | 148,143,000 | 143,169,849 | 4,973,151 | 96.6 |

(6) 他会計からの補助金（予算第9条）

一般会計からの補助金及び負担金を次のとおり受け入れている。

<第8表>

(単位：円、%)

| 区 分 | 議決予算額 | 決 算 額 | 決算額合計 | 差 引 額 | 比 率 |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------|-------|
| 補 助 金 | 315,544,000 | 182,239,659 | 315,543,106 | 894 | 100.0 |
| 負 担 金 | | 133,303,447 | | | |

(7) たな卸資産購入限度額（予算第11条）

たな卸資産の購入は、議決予算額の限度内で次のとおり執行されている。

<第9表>

(単位：円、%)

| 購入限度額(議決) | 決 算 額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|-----------|-----------|-----------|-------|
| 4,666,000 | 3,637,282 | 1,028,718 | 78.0 |

3 経営成績（損益計算書）

（1）損益の状況

当年度の経営成績の概要は、営業損失328,603,620円、経常利益76,545,134円、当年度純利益76,545,134円を計上し、黒字決算となっている。

営業収益651,194,313円に対し、営業費用は979,797,933円で、差し引き328,603,620円の営業損失を生じており、前年度の営業損失に比べ65,724,404円（25.0%）収支が悪化している。主な要因は、給水収益が減少したことに伴い、営業収益が減少したことによるものである。

次に営業外収益481,584,682円に対し、営業外費用は76,435,928円で、営業損失に営業外収益及び営業外費用を加減した結果、経常利益は76,545,134円で、前年度に比べ45,786,395円（37.4%）減少している。主な要因は、営業収支が悪化したことによるものである。

当年度純利益は、特別利益と特別損失の計上がないため、経常利益と同額の76,545,134円である。

当年度純利益と前年度繰越利益剰余金及びその他未処分利益剰余金変動額（建設改良積立金取崩）を加えた当年度未処分利益剰余金は2,052,393,230円である。

<第10表> 経営成績の推移

（単位：円、%）

| 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 | 平成27年度 | 前年度比較 | |
|------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------|
| | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| A 営業収益 | 651,194,313 | 678,302,177 | 677,849,447 | 558,583,069 | 541,287,957 | △ 27,107,864 | △ 4.0 |
| B 営業費用 | 979,797,933 | 941,181,393 | 971,581,441 | 684,876,035 | 693,126,071 | 38,616,540 | 4.1 |
| C 営業損益A-B | △ 328,603,620 | △ 262,879,216 | △ 293,731,994 | △ 126,292,966 | △ 151,838,114 | △ 65,724,404 | 25.0 |
| D 営業外収益 | 481,584,682 | 468,038,680 | 465,417,263 | 262,543,808 | 262,769,217 | 13,546,002 | 2.9 |
| E 営業外費用 | 76,435,928 | 82,827,935 | 91,327,039 | 61,950,912 | 67,307,614 | △ 6,392,007 | △ 7.7 |
| F 経常損益C+D-E | 76,545,134 | 122,331,529 | 80,358,230 | 74,299,930 | 43,623,489 | △ 45,786,395 | △ 37.4 |
| G 特別利益 | 0 | 0 | 29,077 | 25,620 | 14,319,320 | 0 | — |
| H 特別損失 | 0 | 0 | 997,704 | 0 | 0 | 0 | — |
| I 当年度純利益 F+G-H | 76,545,134 | 122,331,529 | 79,389,603 | 74,325,550 | 57,942,809 | △ 45,786,395 | △ 37.4 |
| J 前年度繰越 利益剰余金 | 1,872,081,489 | 1,853,516,567 | 1,774,126,964 | 1,699,801,414 | 1,641,858,605 | 18,564,922 | 1.0 |
| K その他未処分 利益剰余金変動額 | 103,766,607 | 0 | 0 | 0 | 0 | 103,766,607 | — |
| L 当年度未処分 利益剰余金I+J+K | 2,052,393,230 | 1,975,848,096 | 1,853,516,567 | 1,774,126,964 | 1,699,801,414 | 76,545,134 | 3.9 |
| M 総収益A+D+G | 1,132,778,995 | 1,146,340,857 | 1,143,295,787 | 821,152,497 | 818,376,494 | △ 13,561,862 | △ 1.2 |
| N 総費用B+E+H | 1,056,233,861 | 1,024,009,328 | 1,063,906,184 | 746,826,947 | 760,433,685 | 32,224,533 | 3.1 |

（2）収益の状況

営業収益は651,194,313円で、前年度に比べ27,107,864円（4.0%）減少している。主な要因は、大口需要者の倒産等により給水収益が減少したことによるものである。

営業外収益は481,584,682円で、前年度に比べ13,546,002円（2.9%）増加している。主な要因は、一般会計繰入金の「上水道の高料金対策に要する経費」分等の増加により他会計補助金が増加したことによるものである。

<第11表> 収益の対前年度比較表

(単位：円、%)

| 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度比較 | |
|-----------|---------------|---------------|--------------|---------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 営業収益 | 651,194,313 | 678,302,177 | △ 27,107,864 | △ 4.0 |
| 給水収益 | 650,425,813 | 677,485,177 | △ 27,059,364 | △ 4.0 |
| その他の営業収益 | 768,500 | 817,000 | △ 48,500 | △ 5.9 |
| 営業外収益 | 481,584,682 | 468,038,680 | 13,546,002 | 2.9 |
| 受取利息及び配当金 | 914,386 | 338,456 | 575,930 | 170.2 |
| 他会計補助金 | 182,239,659 | 171,517,459 | 10,722,200 | 6.3 |
| 長期前受金戻入 | 269,050,297 | 269,904,132 | △ 853,835 | △ 0.3 |
| 手数料 | 14,941,822 | 14,805,558 | 136,264 | 0.9 |
| 加入金 | 7,760,000 | 11,040,000 | △ 3,280,000 | △ 29.7 |
| 雑収益 | 6,678,518 | 433,075 | 6,245,443 | 1,442.1 |
| 特別利益 | 0 | 0 | 0 | - |
| 過年度損益修正益 | 0 | 0 | 0 | - |
| 合計 | 1,132,778,995 | 1,146,340,857 | △ 13,561,862 | △ 1.2 |

(3) 費用の状況

営業費用は979,797,933円で、前年度に比べ38,616,540円(4.1%)増加している。主な要因は、修繕費の増加や緩速ろ過池浮上型防藻ボードの導入により原水及び浄水費と配水及び給水費が増加したことによるものである。

営業外費用は76,435,928円で、前年度に比べ6,392,007円(7.7%)減少している。主な要因は、企業債支払利息が減少したことによるものである。

<第12表> 費用の対前年度比較表

(単位：円、%)

| 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度比較 | |
|---------|---------------|---------------|-------------|-------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 営業費用 | 979,797,933 | 941,181,393 | 38,616,540 | 4.1 |
| 原水及び浄水費 | 217,286,654 | 198,382,359 | 18,904,295 | 9.5 |
| 配水及び給水費 | 95,500,668 | 84,461,892 | 11,038,776 | 13.1 |
| 業務費 | 43,303,852 | 42,276,001 | 1,027,851 | 2.4 |
| 総係費 | 77,408,598 | 73,569,617 | 3,838,981 | 5.2 |
| 減価償却費 | 529,709,321 | 533,751,221 | △ 4,041,900 | △ 0.8 |
| 資産減耗費 | 16,588,840 | 8,740,303 | 7,848,537 | 89.8 |
| 営業外費用 | 76,435,928 | 82,827,935 | △ 6,392,007 | △ 7.7 |
| 支払利息 | 73,457,345 | 81,091,081 | △ 7,633,736 | △ 9.4 |
| 雑支出 | 2,978,583 | 1,736,854 | 1,241,729 | 71.5 |
| 特別損失 | 0 | 0 | 0 | - |
| その他特別損失 | 0 | 0 | 0 | - |
| 合計 | 1,056,233,861 | 1,024,009,328 | 32,224,533 | 3.1 |

(4) 一般会計繰入金の状況

一般会計からの繰入金は315,543,106円で、前年度に比べ33,548,138円(9.6%)減少している。主な要因は、水道拡張に伴う起債の償還が順調に進み、「起債償還に係る補助金(償還元金)」分が減少したことによるものである。

収益的収入と資本的収入を合わせた総収入1,417,594,366円に対する繰入金の占める割合は、22.3%である。

<第13表> 一般会計繰入金の内訳

(単位：円、%)

| 区 分 | | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度比較 | | |
|----------------------------|----------------------------|-----------------------------------|---------------------------|-----------------------|-------------|-----------|
| | | | | 増減額 | 増減率 | |
| 基準内繰入 | 収益的収入(営業外収益) | | 57,768,446 | 55,178,605 | 2,589,841 | 4.7 |
| | 他 補 助 金 計 | 上水道の高料金対策に要する経費 | 41,289,488 | 37,165,960 | 4,123,528 | 11.1 |
| | | 統合水道に係る統合前の簡易水道の建設改良に要する補助金(償還利子) | 15,412,958 | 16,724,645 | △1,311,687 | △7.8 |
| | | 児童手当繰入金 | 1,066,000 | 1,288,000 | △222,000 | △17.2 |
| | 資本的収入 | | 67,398,419 | 76,273,636 | △8,875,217 | △11.6 |
| | 他 会 計 負 担 金 | 上水道の水源開発に係る負担金(灰塚ダム) | 0 | 498,648 | △498,648 | 皆減 |
| | | 統合水道に係る統合前の簡易水道の建設改良に要する補助金(償還元金) | 67,278,419 | 75,414,988 | △8,136,569 | △10.8 |
| | | 児童手当繰入金 | 120,000 | 360,000 | △240,000 | △66.7 |
| | 計 | | 125,166,865 (8.8%) | 131,452,241 (8.9%) | △6,285,376 | △4.8 |
| | 基準外繰入 | 収益的収入(営業外収益) | | 124,471,213 | 115,627,110 | 8,844,103 |
| 他 会 計 補 助 金 | | 起債償還に係る補助金(償還利子) | 19,205,197 | 21,452,955 | △2,247,758 | △10.5 |
| | | 特定多目的ダム法第35条の規定による特別納付金 | 8,612,600 | 7,597,200 | 1,015,400 | 13.4 |
| | | 堰堤維持費江の川灰塚ダム維持管理費 | 4,714,000 | 3,094,956 | 1,619,044 | 52.3 |
| | | 電気事業者等負担金 | 1,339,354 | 959,531 | 379,823 | 39.6 |
| | | 統合した簡易水道施設に係る減価償却費から長期前受金戻入を控除した額 | 90,600,062 | 82,522,468 | 8,077,594 | 9.8 |
| 資本的収入 | | 65,905,028 | 101,300,149 | △35,395,121 | △34.9 | |
| 他 負 担 金 計 | 起債償還に係る補助金(償還元金) | 65,905,028 | 101,300,149 | △35,395,121 | △34.9 | |
| 計 | | 190,376,241 (13.4%) | 216,927,259 (14.6%) | △26,551,018 | △12.2 | |
| その他 | 7月豪雨災害に係る災害救助費払戻し(燃料費、人件費) | | 0 | 711,744 | △711,744 | 皆減 |
| | 計 | | 0 (0.0%) | 711,744 (0.0%) | △711,744 | 皆減 |
| 合 計 | | 315,543,106 (22.3%) | 349,091,244 (23.6%) | △33,548,138 | △9.6 | |
| 総収入(収益的収入及び資本的収入) | | 1,417,594,366 (100.0%) | 1,482,107,200 (100.0%) | △64,512,834 | △4.4 | |

※決算額欄の括弧内の百分率の数値は、総収入に占める割合を示す。

4 財政状態（貸借対照表）

（1）資産の状況

資産は15,246,570,091円で、前年度に比べ160,789,031円（1.0%）減少している。

固定資産は13,703,246,303円で、前年度に比べ202,599,089円（1.5%）減少している。主な要因は、減価償却が行われたことにより構築物や機械及び装置が減少したことによるものである。

流動資産は1,543,323,788円で、前年度に比べ41,810,058円（2.8%）増加している。主な要因は、令和2年3月末完成の工事請負費等の未払金処理により現金預金が増加したことによるものである。

（2）負債の状況

負債は9,315,436,529円で、前年度に比べ237,334,165円（2.5%）減少している。

固定負債は3,385,565,410円で、前年度に比べ209,173,828円（5.8%）減少している。主な要因は、令和3年度以降に償還する企業債残高が減少したことによるものである。

流動負債は478,543,263円で、前年度に比べ106,687,693円（28.7%）増加している。主な要因は、令和2年3月末完成の工事請負費等の未払金が増加したことによるものである。

繰延収益は5,451,327,856円で、前年度に比べ134,848,030円（2.4%）減少している。主な要因は、長期前受金の収益化が行われたことにより、未収益化分の長期前受金が減少したことによるものである。

（3）資本の状況

資本は5,931,133,562円で、前年度に比べ76,545,134円（1.3%）増加している。

資本金は2,868,540,140円で、前年度と同額である。

剰余金は3,062,593,422円で、前年度に比べ76,545,134円（2.6%）増加している。主な要因は、当年度純利益が生じたことにより利益剰余金が増加したことによるものである。

<第14表> 比較貸借対照表

(単位：円、%)

| 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前 年 度 比 較 | |
|---------------------|----------------|----------------|---------------|-------|
| | | | 増 減 額 | 増 減 率 |
| 固 定 資 産 | 13,703,246,303 | 13,905,845,392 | △ 202,599,089 | △ 1.5 |
| 有 形 固 定 資 産 | 11,736,164,955 | 11,895,519,451 | △ 159,354,496 | △ 1.3 |
| 無 形 固 定 資 産 | 1,967,020,128 | 2,010,264,721 | △ 43,244,593 | △ 2.2 |
| 投 資 そ の 他 の 資 産 | 61,220 | 61,220 | 0 | 0.0 |
| 流 動 資 産 | 1,543,323,788 | 1,501,513,730 | 41,810,058 | 2.8 |
| 現 金 預 金 | 1,511,666,013 | 1,405,339,640 | 106,326,373 | 7.6 |
| 営 業 未 収 金 | 16,786,046 | 12,479,105 | 4,306,941 | 34.5 |
| 貸 倒 引 当 金 | △ 1,397,069 | △ 836,098 | △ 560,971 | 67.1 |
| 営 業 外 未 収 金 | 5,445,400 | 0 | 5,445,400 | 皆 増 |
| そ の 他 未 収 金 | 2,020 | 0 | 2,020 | 皆 増 |
| 前 払 金 | 0 | 73,400,000 | △ 73,400,000 | 皆 減 |
| 貯 蔵 品 | 7,821,378 | 8,131,083 | △ 309,705 | △ 3.8 |
| 有 価 証 券 | 3,000,000 | 3,000,000 | 0 | 0.0 |
| 資 産 合 計 | 15,246,570,091 | 15,407,359,122 | △ 160,789,031 | △ 1.0 |
| 固 定 負 債 | 3,385,565,410 | 3,594,739,238 | △ 209,173,828 | △ 5.8 |
| 企 業 債 | 3,385,565,410 | 3,594,739,238 | △ 209,173,828 | △ 5.8 |
| 流 動 負 債 | 478,543,263 | 371,855,570 | 106,687,693 | 28.7 |
| 企 業 債 | 293,573,829 | 287,078,256 | 6,495,573 | 2.3 |
| 未 払 金 | 132,833,539 | 32,456,459 | 100,377,080 | 309.3 |
| 引 当 金 | 9,727,000 | 9,751,000 | △ 24,000 | △ 0.2 |
| そ の 他 流 動 負 債 | 42,408,895 | 42,569,855 | △ 160,960 | △ 0.4 |
| 繰 延 収 益 | 5,451,327,856 | 5,586,175,886 | △ 134,848,030 | △ 2.4 |
| 長 期 前 受 金 | 5,445,086,503 | 5,579,934,533 | △ 134,848,030 | △ 2.4 |
| 建 設 仮 勘 定 長 期 前 受 金 | 6,241,353 | 6,241,353 | 0 | 0.0 |
| 負 債 合 計 | 9,315,436,529 | 9,552,770,694 | △ 237,334,165 | △ 2.5 |
| 資 本 金 | 2,868,540,140 | 2,868,540,140 | 0 | 0.0 |
| 資 本 金 | 2,868,540,140 | 2,868,540,140 | 0 | 0.0 |
| 剰 余 金 | 3,062,593,422 | 2,986,048,288 | 76,545,134 | 2.6 |
| 資 本 剰 余 金 | 626,882,858 | 626,882,858 | 0 | 0.0 |
| 利 益 剰 余 金 | 2,435,710,564 | 2,359,165,430 | 76,545,134 | 3.2 |
| 資 本 合 計 | 5,931,133,562 | 5,854,588,428 | 76,545,134 | 1.3 |
| 負 債 資 本 合 計 | 15,246,570,091 | 15,407,359,122 | △ 160,789,031 | △ 1.0 |

5 企業債

当年度の借入額84,400千円を含む借入総額（発行総額）は8,915,849,194円で、当年度に287,078,255円を償還したことにより償還累計額5,236,709,955円となり、未償還残高は3,679,139,239円となっている。

また、当年度の企業債支払利息は73,457,345円で、企業債利息の残高は473,232,801円である。

<第15表> 企業債元金の推移

(単位：円、%)

| 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 | 平成27年度 | 前年度比較 | |
|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------|
| | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 借入額 | 84,400,000 | 75,800,000 | 69,100,000 | 52,300,000 | 82,600,000 | 8,600,000 | 11.3 |
| 償還額 | 287,078,255 | 395,810,039 | 427,001,567 | 298,443,769 | 300,208,244 | △ 108,731,784 | △ 27.5 |
| 未償還残高 | 3,679,139,239 | 3,881,817,494 | 4,201,827,533 | 2,836,372,493 | 3,082,516,262 | △ 202,678,255 | △ 5.2 |

<第16表> 企業債利息の推移

(単位：円、%)

| 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 | 平成27年度 | 前年度比較 | |
|------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------|
| | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 支払利息 | 73,457,345 | 81,091,081 | 88,841,599 | 63,565,483 | 68,798,944 | △ 7,633,736 | △ 9.4 |
| 利息残高 | 473,232,801 | 542,682,284 | 619,064,165 | 469,770,161 | 527,669,134 | △ 69,449,483 | △ 12.8 |

6 キャッシュ・フローの状況

当年度における水道事業会計の現金預金は、期末残高1,511,666,013円となり、期首残高と比べて106,326,373円増加している。

業務活動によるキャッシュ・フローは416,377,737円で、前年度に比べ101,581,195円増加している。主な要因は、明賀池既設堤体対策工事に係る「前払金の増減（精算）」によるものである。

投資活動によるキャッシュ・フローは△107,373,109円で、前年度に比べ158,744,327円増加している。主な要因は、令和元年度から「一般会計繰入金及び他の団体等からの負担金による収入」分に財務活動によるキャッシュ・フローの「企業債償還に伴う一般会計からの補助金による収入」分を含めて計上したことによるものである。

財務活動によるキャッシュ・フローは△202,678,255円で、前年度に比べ60,242,001円減少している。主な要因は、令和元年度から「企業債償還に伴う一般会計からの補助金による収入」分を投資活動によるキャッシュ・フローの「一般会計繰入金及び他の団体等からの負担金による収入」分に含めて計上したことによるものである。

<第17表> 比較キャッシュ・フロー計算書（間接法）

（単位：円）

| 科 目 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度比較 |
|-----------------------------|---------------|---------------|---------------|
| | | | 増減額 |
| 1 業務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 当年度純利益 | 76,545,134 | 122,331,529 | △ 45,786,395 |
| 減価償却費 | 529,709,321 | 533,751,221 | △ 4,041,900 |
| 貸倒引当金の増加額 | 560,971 | 0 | 560,971 |
| 貸倒引当金の減少額 | 0 | △ 314,164 | 314,164 |
| 賞与引当金の増加額 | 0 | 105,000 | △ 105,000 |
| 賞与引当金の減少額 | △ 35,000 | 0 | △ 35,000 |
| 法定福利費引当金の増加額 | 11,000 | 46,000 | △ 35,000 |
| 長期前受金戻入額 | △ 269,050,297 | △ 269,904,132 | 853,835 |
| 受取利息及び受取配当金 | △ 914,386 | △ 338,456 | △ 575,930 |
| 支払利息 | 73,457,345 | 81,091,081 | △ 7,633,736 |
| 固定資産除却損 | 16,588,840 | 8,740,303 | 7,848,537 |
| 特定収入仮払消費税及び地方消費税 | △ 7,196,180 | △ 6,879,250 | △ 316,930 |
| 未収金の増加額 | △ 9,754,361 | 0 | △ 9,754,361 |
| 未収金の減少額 | 0 | 82,134 | △ 82,134 |
| 未払金の増加額 | 5,449,564 | 1,894,412 | 3,555,152 |
| たな卸資産の増加額 | 0 | △ 854,595 | 854,595 |
| たな卸資産の減少額 | 309,705 | 0 | 309,705 |
| 前払金の増加額 | 0 | △ 73,400,000 | 73,400,000 |
| 前払金の減少額 | 73,400,000 | 0 | 73,400,000 |
| その他(預り金の増減) | △ 160,960 | △ 801,916 | 640,956 |
| 小 計 | 488,920,696 | 395,549,167 | 93,371,529 |
| 利息及び配当金の受取額 | 914,386 | 338,456 | 575,930 |
| 利息の支払額 | △ 73,457,345 | △ 81,091,081 | 7,633,736 |
| 計 | 416,377,737 | 314,796,542 | 101,581,195 |
| 2 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △ 248,771,556 | △ 291,075,244 | 42,303,688 |
| 工事負担金による収入 | 4,456,000 | 16,759,000 | △ 12,303,000 |
| 一般会計繰入金及び他の団体等からの負担金による収入 | 136,942,447 | 8,198,808 | 128,743,639 |
| 計 | △ 107,373,109 | △ 266,117,436 | 158,744,327 |
| 3 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 建設改良費等の財源に充てるための企業債の発行による収入 | 84,400,000 | 75,800,000 | 8,600,000 |
| 建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出 | △ 287,078,255 | △ 395,810,039 | 108,731,784 |
| 企業債償還に伴う一般会計からの補助金による収入 | 0 | 177,573,785 | △ 177,573,785 |
| 計 | △ 202,678,255 | △ 142,436,254 | △ 60,242,001 |
| 現金預金の増加額 | 106,326,373 | △ 93,757,148 | 200,083,521 |
| 現金預金の期首残高 | 1,405,339,640 | 1,499,096,788 | △ 93,757,148 |
| 現金預金の期末残高 | 1,511,666,013 | 1,405,339,640 | 106,326,373 |

7 経営分析比率

当年度の経営分析比率については、主なものは次のとおりである。なお、全国平均は総務省編「平成30年度水道事業経営指標」の数値（給水人口1.5万人以上3万人未満の全国平均）を引用している。（※決算審査資料第5表参照）

（1）営業収支比率

営業収益と営業費用を比較したもので、数値は100%以上かつ高いほど良好といえる。給水収益の減少に伴う営業収益の減少により、前年度に比べ5.6ポイント減少し66.5%となっている。（全国平均95.6%）

（2）流動比率

流動比率は、流動負債に対する流動資産の割合で、事業の安定性を見るうえで、企業の支払能力がどういう状態にあるかを示すものである。この比率が高いほど債務の支払いに十分な流動資産を持つことになり、200%以上なら安全とされている。流動負債が減少し、前年度に比べ81.3ポイント減少し322.5%となっている。（全国平均：348.8%）

（3）自己資本構成比率

自己資本構成比率は、総資本に対する自己資本の占める割合で、大きいほど経営の健全性が高いとされている。前年度に比べ0.4ポイント増加し74.7%となっている。（全国平均66.4%）

（4）固定資産構成比率

固定資産構成比率は、総資産の中で、固定資産の占める割合を示すものであり、一般に公益事業においてはこの比率が高いが、低いことが望ましいとされている。前年度に比べ0.4ポイント減少し89.9%となっている。（全国平均：86.4%）

（5）固定資産対長期資本比率

固定資産対長期資本比率は、固定資産と長期資本との関係を判断するために用いられ、一般に100%以下であることが望ましいとされている。前年度に比べ0.3ポイント増加し92.8%となっている。（全国平均：89.9%）

む す び

当年度は、平成25年度に策定された「庄原市地域水道ビジョン」（以下、「水道ビジョン」という。）の中期計画期間（令和元年度～令和5年度）であり、水道ビジョンに基づく建設改良事業として、水道施設の設備更新、危機管理マニュアルの改訂等が実施され、安全で良質な水の安定供給に努められたところである。

当年度の純利益は、前年度に比べ4,579万円減の7,655万円で黒字決算となっており、その結果、当年度未処分利益剰余金は20億5,239万円となっている。

経営成績については、大口需要者の倒産等による給水収益が前年度に比べ減少したことにより、営業収益は6億5,119万円となっている。一方、水道施設の修繕費等が前年度に比べ増加したことにより、営業費用は9億7,980万円となり、3億2,860万円の営業損失を生じている。

また、一般会計からの繰入金である他会計補助金が前年度に比べ増加したことにより、営業外収益は4億8,158万円となっている。一方、企業債支払利息が前年度に比べ減少し、営業外費用は7,644万円となり、結果として7,655万円の当年度純利益となっている。

平成30年4月に広島県により策定された「広島県水道広域連携案」に基づき、広島県と県内市町において広域化の協議が重ねられ、令和2年1月に広島県は「広島県における水道広域連携の進め方について」を公表、6月には「広島県水道広域連携推進方針」が策定され、県内水道事業の経営組織を統合する方針が示されたところである。広域連携により、建設改良費や施設の維持管理費のコスト削減等の効果が見込まれているが、他市においては慎重な見方もあり、広域連携の賛同の可否については、十分に検討・論議を行われ判断されたい。

今後も人口減による給水人口の減少や市民の節水意識の浸透等により、水道経営の根幹である給水収益の増収を見込むのは困難な状況である。また、施設の再編や既存施設の改良・更新等による資金需要の増大が予想されるが、引き続き、水道ビジョンに基づく事業を実施されるとともに、事業の効率化を図られ、安全で良質な水の安定供給に努められたい。

水 道 事 業 会 計
決 算 審 査 資 料

資 料 目 次

| | | |
|-----|---------------------|-------|
| 第1表 | 水道事業予算決算対照表（損益取引の部） | 20～21 |
| 第2表 | 水道事業予算決算対照表（資本取引の部） | 22～23 |
| 第3表 | 比較損益計算書 | 24 |
| 第4表 | 比較貸借対照表 | 25 |
| 第5表 | 水道事業分析比率表 | 26～27 |
| 第6表 | 企業債償還元金及び利子所要額表 | 28 |

第1表

水道事業予算決算対照表（損益取引の部）

収入

| 区 分 | 予 算 現 額 | 令和元年度決算額 | 構 成 比 率 |
|--------------|----------------------|----------------------|--------------|
| | | 税 込 | |
| 営業収益 | 707,173,000 | 707,327,976 | 59.4 |
| 1 給水収益 | 706,285,000 | 706,559,476 | 59.3 |
| 2 その他営業収益 | 888,000 | 768,500 | 0.1 |
| 営業外収益 | 485,924,000 | 483,766,773 | 40.6 |
| 1 受取利息及び配当金 | 844,000 | 914,386 | 0.1 |
| 2 他会計補助金 | 182,240,000 | 182,239,659 | 15.3 |
| 3 長期前受金戻入 | 269,492,000 | 269,050,297 | 22.6 |
| 4 手数料 | 18,321,000 | 16,436,000 | 1.4 |
| 5 加入金 | 8,333,000 | 8,463,200 | 0.7 |
| 6 雑収益 | 6,694,000 | 6,663,231 | 0.6 |
| 収益合計 | 1,193,097,000 | 1,191,094,749 | 100.0 |

支出

| 区 分 | 予 算 現 額 | 令和元年度決算額 | 構成 比率 | 地方公営企業法第26条 第2項の規定による繰越額 |
|--------------|----------------------|----------------------|--------------|-----------------------------|
| | | 税 込 | | |
| 営業費用 | 1,040,463,000 | 1,006,366,910 | 92.2 | 4,015,000 |
| 1 原水及び浄水費 | 243,594,000 | 233,609,989 | 21.4 | 0 |
| 2 配水及び給水費 | 110,315,000 | 102,838,228 | 9.4 | 0 |
| 3 業務費 | 47,761,000 | 44,968,042 | 4.1 | 220,000 |
| 4 総係費 | 91,147,000 | 78,652,490 | 7.2 | 3,795,000 |
| 5 減価償却費 | 529,769,000 | 529,709,321 | 48.5 | 0 |
| 6 資産減耗費 | 17,857,000 | 16,588,840 | 1.5 | 0 |
| 7 その他営業費用 | 20,000 | 0 | 0.0 | 0 |
| 営業外費用 | 99,847,000 | 85,714,933 | 7.8 | 0 |
| 1 支払利息 | 73,656,000 | 73,457,345 | 6.7 | 0 |
| 2 消費税及び地方消費税 | 25,071,000 | 12,182,600 | 1.1 | 0 |
| 3 雑支出 | 1,120,000 | 74,988 | 0.0 | 0 |
| 予備費 | 300,000 | 0 | 0.0 | 0 |
| 費用合計 | 1,140,610,000 | 1,092,081,843 | 100.0 | 4,015,000 |
| 収支差引額 | 52,487,000 | 99,012,906 | - | |

(単位:円、%)

| 予算現額対決算額 | | 平成30年度決算額 | 平成30年度比較 | | |
|----------|--------------------|--------------|----------------------|---------------------|--------------|
| 増 | 減 | 比率 | 税 込 | 増 減 | 比 較 |
| | 154,976 | 100.0 | 732,337,395 | △ 25,009,419 | 96.6 |
| | 274,476 | 100.0 | 731,520,395 | △ 24,960,919 | 96.6 |
| | △ 119,500 | 86.5 | 817,000 | △ 48,500 | 94.1 |
| | △ 2,157,227 | 99.6 | 470,097,492 | 13,669,281 | 102.9 |
| | 70,386 | 108.3 | 338,456 | 575,930 | 270.2 |
| | △ 341 | 100.0 | 171,517,459 | 10,722,200 | 106.3 |
| | △ 441,703 | 99.8 | 269,904,132 | △ 853,835 | 99.7 |
| | △ 1,885,000 | 89.7 | 15,990,000 | 446,000 | 102.8 |
| | 130,200 | 101.6 | 11,923,200 | △ 3,460,000 | 71.0 |
| | △ 30,769 | 99.5 | 424,245 | 6,238,986 | 1,570.6 |
| | △ 2,002,251 | 99.8 | 1,202,434,887 | △ 11,340,138 | 99.1 |

(単位:円、%)

| 不用額 | | 平成30年度決算額 | 平成30年度比較 | | |
|-----|-------------------|-------------|----------------------|---------------------|--------------|
| 増 | 減 | 執行率 | 税 込 | 増 減 | 比 較 |
| | 30,081,090 | 96.7 | 961,331,742 | 45,035,168 | 104.7 |
| | 9,984,011 | 95.9 | 211,259,523 | 22,350,466 | 110.6 |
| | 7,476,772 | 93.2 | 89,729,442 | 13,108,786 | 114.6 |
| | 2,572,958 | 94.2 | 43,673,015 | 1,295,027 | 103.0 |
| | 8,699,510 | 86.3 | 74,178,238 | 4,474,252 | 106.0 |
| | 59,679 | 100.0 | 533,751,221 | △ 4,041,900 | 99.2 |
| | 1,268,160 | 92.9 | 8,740,303 | 7,848,537 | 189.8 |
| | 20,000 | 0.0 | 0 | 0 | - |
| | 14,132,067 | 85.8 | 104,625,216 | △ 18,910,283 | 81.9 |
| | 198,655 | 99.7 | 81,091,081 | △ 7,633,736 | 90.6 |
| | 12,888,400 | 48.6 | 23,482,000 | △ 11,299,400 | 51.9 |
| | 1,045,012 | 6.7 | 52,135 | 22,853 | 143.8 |
| | 300,000 | 0.0 | 0 | 0 | - |
| | 44,513,157 | 95.7 | 1,065,956,958 | 26,124,885 | 102.5 |
| | - | - | 136,477,929 | △ 37,465,023 | 72.5 |

第 2 表

水道事業予算決算対照表（資本取引の部）

| 区 分 | 予 算 額 | 継 続 費 通 次 繰越額に係る 財 源 充 当 額 | 予算現額 | 令和元年度 決算額 | 構成 比率 |
|------------------------------|--------------------|----------------------------------|--------------------|--------------------|--------------|
| 資 本 的 収 入 | 245,066,000 | 0 | 245,066,000 | 226,499,617 | 34.3 |
| 1 企 業 債 | 84,400,000 | 0 | 84,400,000 | 84,400,000 | 12.8 |
| 2 負 担 金 | 160,666,000 | 0 | 160,666,000 | 142,099,617 | 21.5 |
| 収 入 不 足 補 填 財 源 | 352,686,000 | 117,877,000 | 470,563,000 | 434,387,158 | 65.7 |
| 1 当年度分消費税及び地方 消費税資本の収支調整額 | 9,415,000 | 12,723,000 | 22,138,000 | 22,137,925 | 3.3 |
| 2 過年度分損益勘定留保資金 | 31,209,000 | 1,000 | 31,210,000 | 31,209,414 | 4.7 |
| 3 当年度分損益勘定留保資金 | 278,145,000 | 0 | 278,145,000 | 277,273,212 | 42.0 |
| 4 繰越利益剰余金処分額 (建設改良積立金取崩) | 33,917,000 | 105,153,000 | 139,070,000 | 103,766,607 | 15.7 |
| 合 計 | 597,752,000 | 117,877,000 | 715,629,000 | 660,886,775 | 100.0 |

| 区 分 | 予 算 額 | 継 続 費 通 次 繰越額 | 予算現額 | 令和元年度 決算額 | 構成 比率 |
|------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------|
| 資 本 的 支 出 | 597,752,000 | 117,877,000 | 715,629,000 | 660,886,775 | 100.0 |
| 1 建 設 改 良 費 | 310,173,000 | 117,877,000 | 428,050,000 | 373,808,520 | 56.6 |
| 2 企 業 債 償 還 金 | 287,079,000 | 0 | 287,079,000 | 287,078,255 | 43.4 |
| 3 固 定 資 産 購 入 費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 |
| 4 予 備 費 | 500,000 | 0 | 500,000 | 0 | 0.0 |
| 合 計 | 597,752,000 | 117,877,000 | 715,629,000 | 660,886,775 | 100.0 |

(単位:円、%)

| 予算現額対決算額 | | 比率 | 平成30年度 決算額 | 平成30年度比較 | |
|----------|--------------|-------|---------------|---------------|-------|
| 増 | 減 | | | 増 | 減 |
| | △ 18,566,383 | 92.4 | 279,672,313 | △ 53,172,696 | 81.0 |
| | 0 | 100.0 | 75,800,000 | 8,600,000 | 111.3 |
| | △ 18,566,383 | 88.4 | 203,872,313 | △ 61,772,696 | 69.7 |
| | △ 36,175,842 | 92.3 | 429,214,174 | 5,172,984 | 101.2 |
| | △ 75 | 100.0 | 13,746,050 | 8,391,875 | 161.0 |
| | △ 586 | 100.0 | 174,054,962 | △ 142,845,548 | 17.9 |
| | △ 871,788 | 99.7 | 241,413,162 | 35,860,050 | 114.9 |
| | △ 35,303,393 | 74.6 | 0 | 103,766,607 | 皆増 |
| | △ 54,742,225 | 92.4 | 708,886,487 | △ 47,999,712 | 93.2 |

(単位:円、%)

| 地方公営企業 法第26条の規 定による繰越額 | 不 用 額 | | 平成30年度 決算額 | 平成30年度比較 | |
|------------------------------|------------|-------|---------------|---------------|-------|
| | 増 | 減 | | 執行率 | 増 |
| 25,413,000 | 29,329,225 | 92.4 | 708,886,487 | △ 47,999,712 | 93.2 |
| 25,413,000 | 28,828,480 | 87.3 | 308,972,448 | 64,836,072 | 121.0 |
| 0 | 745 | 100.0 | 395,810,039 | △ 108,731,784 | 72.5 |
| 0 | 0 | — | 4,104,000 | △ 4,104,000 | 皆減 |
| 0 | 500,000 | 0.0 | 0 | 0 | — |
| 25,413,000 | 29,329,225 | 92.4 | 708,886,487 | △ 47,999,712 | 93.2 |

第3表

比較損益計算書

(単位:円、%)

| 科 目 | 令和元年度 | | | 平成30年度 | | | 平成29年度 | | | 平成28年度 | | | 平成27年度 | | |
|--------------------------|----------------------|-------------|--------------|----------------------|-------------|--------------|----------------------|-------------|--------------|----------------------|-------------|--------------|----------------------|-------------|--------------|
| | 金額 | 構成比率 | すう勢比率 | 金額 | 構成比率 | すう勢比率 | 金額 | 構成比率 | すう勢比率 | 金額 | 構成比率 | すう勢比率 | 金額 | 構成比率 | すう勢比率 |
| 給水収益 | 650,425,813 | 57.4 | 124.7 | 677,485,177 | 59.1 | 129.9 | 677,064,947 | 59.2 | 129.8 | 538,637,069 | 52.6 | 103.3 | 521,439,457 | 63.7 | 100.0 |
| その他の営業収益 | 768,500 | 0.1 | 3.9 | 817,000 | 0.1 | 4.1 | 784,500 | 0.1 | 4.0 | 19,946,000 | 1.9 | 100.5 | 19,848,500 | 2.4 | 100.0 |
| 営業収益合計 | 651,194,313 | 57.5 | 120.3 | 678,302,177 | 59.2 | 125.3 | 677,849,447 | 59.3 | 125.2 | 558,583,069 | 68.0 | 103.2 | 541,287,957 | 66.1 | 100.0 |
| 原水及び浄水費 | 217,286,654 | 20.6 | 157.8 | 198,382,359 | 19.4 | 144.1 | 195,396,550 | 18.4 | 141.9 | 119,878,054 | 16.1 | 87.1 | 137,686,126 | 18.1 | 100.0 |
| 配水及び給水費 | 95,500,668 | 9.0 | 131.3 | 84,461,892 | 8.2 | 116.1 | 99,294,199 | 9.3 | 136.5 | 63,004,656 | 8.4 | 86.6 | 72,723,282 | 9.6 | 100.0 |
| 業 務 費 | 43,303,852 | 4.1 | 106.6 | 42,276,001 | 4.1 | 104.0 | 46,692,683 | 4.4 | 114.9 | 39,489,882 | 5.3 | 97.2 | 40,633,138 | 5.3 | 100.0 |
| 総 係 費 | 77,408,598 | 7.3 | 107.5 | 73,569,617 | 7.2 | 102.2 | 75,848,078 | 7.1 | 105.4 | 88,964,240 | 11.9 | 123.6 | 71,986,736 | 9.5 | 100.0 |
| 減価償却費 | 529,709,321 | 50.2 | 145.1 | 533,751,221 | 52.1 | 146.2 | 545,514,061 | 51.3 | 149.4 | 370,556,580 | 49.6 | 101.5 | 365,022,587 | 48.0 | 100.0 |
| 資産減耗費 | 16,588,840 | 1.6 | 326.9 | 8,740,303 | 0.9 | 172.2 | 8,835,870 | 0.8 | 174.1 | 2,982,623 | 0.4 | 58.8 | 5,074,202 | 0.7 | 100.0 |
| 営業費用合計 | 979,797,933 | 92.8 | 141.4 | 941,181,393 | 91.9 | 135.8 | 971,581,441 | 91.3 | 140.2 | 684,876,035 | 91.7 | 98.8 | 693,126,071 | 91.1 | 100.0 |
| 営業利益 (又は営業損失) | △ 328,603,620 | - | 216.4 | △ 262,879,216 | - | 173.1 | △ 293,731,994 | - | 193.5 | △ 126,292,966 | - | 83.2 | △ 151,838,114 | - | 100.0 |
| 受取利息及び配当金 | 914,386 | 0.1 | 115.8 | 338,456 | 0.0 | 42.8 | 562,457 | 0.0 | 71.2 | 562,780 | 0.1 | 71.2 | 789,966 | 0.1 | 100.0 |
| 他会計からの補助金 | 182,239,659 | 16.1 | 387.4 | 171,517,459 | 15.0 | 364.6 | 154,652,013 | 13.5 | 328.8 | 48,530,020 | 5.9 | 103.2 | 47,040,630 | 5.7 | 100.0 |
| 長期前受金戻入 | 269,050,297 | 23.8 | 145.5 | 269,904,132 | 23.5 | 146.0 | 278,242,192 | 24.3 | 150.5 | 188,094,096 | 22.9 | 101.7 | 184,872,436 | 22.6 | 100.0 |
| 手 数 料 | 14,941,822 | 1.3 | 74.7 | 14,805,558 | 1.3 | 74.0 | 15,513,891 | 1.4 | 77.6 | 13,550,929 | 1.7 | 67.7 | 20,002,781 | 2.4 | 100.0 |
| 加 入 金 | 7,760,000 | 0.7 | 81.9 | 11,040,000 | 1.0 | 116.5 | 9,068,000 | 0.8 | 95.7 | 11,560,000 | 1.4 | 121.9 | 9,480,000 | 1.2 | 100.0 |
| 雑 収 益 | 6,678,518 | 0.6 | 1,144.8 | 433,075 | 0.0 | 74.2 | 7,378,710 | 0.6 | 1,264.8 | 245,983 | 0.0 | 42.2 | 583,404 | 0.1 | 100.0 |
| 営業外収益合計 | 481,584,682 | 42.5 | 183.3 | 468,038,680 | 40.8 | 178.1 | 465,417,263 | 40.7 | 177.1 | 262,543,808 | 32.0 | 99.9 | 262,769,217 | 32.1 | 100.0 |
| 支 払 利 息 | 73,457,345 | 7.0 | 109.7 | 81,091,081 | 7.9 | 121.1 | 88,841,857 | 8.4 | 132.7 | 61,650,332 | 8.3 | 92.1 | 66,971,722 | 8.8 | 100.0 |
| 雑 支 出 | 2,978,583 | 0.3 | 886.8 | 1,736,854 | 0.2 | 517.1 | 2,485,182 | 0.2 | 739.9 | 300,580 | 0.0 | 89.5 | 335,892 | 0.0 | 100.0 |
| 営業外費用合計 | 76,435,928 | 7.2 | 113.6 | 82,827,935 | 8.1 | 123.1 | 91,327,039 | 8.6 | 135.7 | 61,950,912 | 6.0 | 92.0 | 67,307,614 | 8.9 | 100.0 |
| 経 常 利 益 | 76,545,134 | - | 175.5 | 122,331,529 | - | 280.4 | 80,358,230 | - | 184.2 | 74,299,930 | - | 170.3 | 43,623,489 | - | 100.0 |
| 特 別 利 益 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 29,077 | 0.0 | 0.2 | 25,620 | 0.0 | 0.2 | 14,319,320 | 1.7 | 100.0 |
| 特 別 損 失 | 0 | 0.0 | - | 0 | 0.0 | - | 997,704 | 0.1 | - | 0 | 0.0 | - | 0 | 0.0 | 100.0 |
| 当年度純利益 | 76,545,134 | - | 132.1 | 122,331,529 | - | 211.1 | 79,389,603 | - | 137.0 | 74,325,550 | - | 128.3 | 57,942,809 | - | 100.0 |

※すう勢比率は、平成27年度を100として算定している。

第 5 表

水道事業分析比率表

| 分析項目 | | 算定方式 | | 令和元年度 |
|------|-----------------------------------|---|--|---------|
| 1 | 営業収支比率 (%) | $\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$ | $\frac{651,194,313}{979,797,933} \times 100$ | 66.5 |
| 2 | 自己資本回転率 (回) | $\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本}+\text{期末自己資本}) \div 2}$ | $\frac{651,194,313}{5,892,860,995}$ | 0.11 |
| 3 | 固定資産回転率 (回) | $\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産}) \div 2}$ | $\frac{651,194,313}{13,804,545,848}$ | 0.05 |
| 4 | 未収金回転率 (回) | $\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金}+\text{期末未収金}) \div 2}$ | $\frac{651,194,313}{14,633,586}$ | 44.5 |
| 5 | 総資本利益率 (%) | $\frac{\text{当年度経常損益}}{(\text{期首総資本}+\text{期末総資本}) \div 2} \times 100$ | $\frac{76,545,134}{15,326,964,607} \times 100$ | 0.5 |
| 6 | 当年度減価償却率 (%) | $\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産}+\text{無形固定資産}-\text{土地}-\text{建設仮勘定}+\text{当年度減価償却費}} \times 100$ | $\frac{529,709,321}{14,232,894,401} \times 100$ | 3.7 |
| 7 | 流動比率 (%) | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$ | $\frac{1,543,323,788}{478,543,263} \times 100$ | 322.5 |
| 8 | 自己資本構成比率 (%) | $\frac{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$ | $\frac{11,382,461,418}{15,246,570,091} \times 100$ | 74.7 |
| 9 | 固定資産構成比率 (%) | $\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産}+\text{流動資産}+\text{繰延資産}} \times 100$ | $\frac{13,703,246,303}{15,246,570,091} \times 100$ | 89.9 |
| 10 | 固定資産対長期資本比率 (%) | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{固定負債}+\text{繰延収益}} \times 100$ | $\frac{13,703,246,303}{14,768,026,828} \times 100$ | 92.8 |
| 11 | 固定比率 (%) | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{繰延収益}} \times 100$ | $\frac{13,703,246,303}{11,382,461,418} \times 100$ | 120.4 |
| 12 | 固定資産使用効率 (m ³ /万円) | $\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}}$ | $\frac{3,210,590}{1,173,616}$ | 2.7 |
| 13 | 取水量対取水能力 (%) | $\frac{\text{1日平均取水量}}{\text{取水能力 (m}^3/\text{日)}} \times 100$ | $\frac{10,171}{21,523} \times 100$ | 47.3 |
| 14 | 配水管100m当たりの給水人口 (人) | $\frac{\text{現在給水人口}}{\text{配水管延長}}$ | $\frac{26,132}{5,439}$ | 5 |
| 15 | 配水管使用効率 (m ³ /m) | $\frac{\text{年間総配水量}}{\text{配水管延長}}$ | $\frac{3,210,590}{543,890}$ | 5.9 |
| 16 | 職員1人当たり給水人口 (人) | $\frac{\text{給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$ | $\frac{26,132}{16}$ | 1,633 |
| 17 | 職員1人当たり有収水量 (m ³) | $\frac{\text{総有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$ | $\frac{2,798,016}{16}$ | 174,876 |
| 18 | 職員1人当たり営業収益 (千円) | $\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定職員数}}$ | $\frac{651,194}{16}$ | 40,700 |
| 19 | 有収水量1万m ³ /日当たり職員数 (人) | $\frac{\text{損益勘定職員数}}{\text{有収水量 (1万m}^3/\text{日)}}$ | $\frac{16}{0.766579726}$ | 21 |
| 20 | 基準外繰入金比率 (%) | $\frac{\text{損益勘定基準外繰入金}}{\text{収益的收入}} \times 100$ | $\frac{124,471,213}{1,191,094,749} \times 100$ | 10.5 |
| | | $\frac{\text{資本勘定基準外繰入金}}{\text{資本的收入}} \times 100$ | $\frac{65,905,028}{226,499,617} \times 100$ | 29.1 |

※ 類似団体の平均比率は、総務省編「平成30年度水道事業経営指標」の数値を引用している。

(単位: %、回、m³、円、人)

| 比 率 | | | | 平成30年度類似 団体の平均比率 | 説 明 |
|---------|---------|---------|---------|---------------------|------------------------------------|
| 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 | 平成27年度 | | |
| 72.1 | 69.8 | 81.6 | 78.1 | 95.6 | この比率が高いほど営業利益率が良いことを示す。 |
| 0.12 | 0.13 | 0.13 | 0.12 | 0.12 | この比率は高いほど投下自己資本に比して営業活動が活発なことを示す。 |
| 0.05 | 0.06 | 0.05 | 0.05 | 0.09 | この比率が低いということは固定資産への投資が過大なことを示している。 |
| 54.2 | 12.1 | 7.5 | 5.2 | 6.6 | この率が高いほど未収期間が短く、早く回収されることを表している。 |
| 0.8 | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 0.7 | この指標が高いほど、総合的な収益性が高いことになる。 |
| 3.7 | 3.8 | 3.6 | 3.8 | 4.3 | 水道事業においては、3%前後の比率となる。 |
| 403.8 | 317.3 | 385.5 | 405.8 | 348.8 | この比率は通常200%以上なら安全とされている。 |
| 74.3 | 72.7 | 75.5 | 73.4 | 66.4 | この比率は高いほど経営は安定している。 |
| 90.3 | 90.3 | 87.2 | 87.5 | 86.4 | 水道事業においては、高率となる。 |
| 92.5 | 93.1 | 90.2 | 90.3 | 89.9 | この比率は低いほど安全性が高く、100%以下が望ましい。 |
| 121.5 | 124.3 | 115.6 | 119.3 | 130.2 | 水道事業においては、企業債に依存するので高率になりやすい。 |
| 2.8 | 2.8 | 3.2 | 3.1 | 5.8 | 数値の低い場合は、遊休資産、未稼働資産についての検討が必要である。 |
| 50.0 | 71.3 | 47.0 | 49.1 | 55.5 | 取水量の取水能力に対する割合を示す。 |
| 5 | 5 | 7 | 7 | 8 | 配水管100メートル当たり、何人で使用しているかを示す。 |
| 6.2 | 6.2 | 8.0 | 8.5 | 10.6 | 配水管が効率的に使用されているかを示す。 |
| 1,556 | 1,573 | 1,448 | 1,358 | 2,873 | 給水人口からみた業務効率、労働生産性を示す。 |
| 171,445 | 171,257 | 157,496 | 150,115 | 321,876 | 販売水量からみた業務効率、労働生産性を示す。 |
| 39,900 | 39,873 | 37,239 | 33,830 | 61,513 | 営業収益の額からみた業務効率、労働生産性を示す。 |
| 21 | 21 | 23 | 24 | 11 | 適正な職員数が配置されているかを示す。 |
| 9.6 | 8.2 | 8.2 | 5.0 | — | 損益勘定に対する基準外繰入の比率である。 |
| 36.2 | 32.7 | 32.7 | 25.8 | — | 資本勘定に対する基準外繰入の比率である。 |

第 6 表

企業債償還元金及び利子所要額表

(単位:円)

| 年度 別 | 各年度末未償還元金 | 各年度償還元利所要額 | | |
|---------|---------------|-------------|------------|-------------|
| | | 元 金 | 利 子 | 計 |
| 元 | 3,679,139,239 | 287,078,255 | 73,457,345 | 360,535,600 |
| 2 | 3,385,565,410 | 293,573,829 | 66,979,937 | 360,553,766 |
| 3 | 3,085,772,959 | 299,792,451 | 60,053,721 | 359,846,172 |
| 4 | 2,781,129,625 | 304,643,334 | 53,092,182 | 357,735,516 |
| 5 | 2,489,666,766 | 291,462,859 | 46,292,659 | 337,755,518 |
| 6 | 2,206,827,260 | 282,839,506 | 40,205,800 | 323,045,306 |
| 7 | 1,936,284,881 | 270,542,379 | 34,563,819 | 305,106,198 |
| 8 | 1,677,945,507 | 258,339,374 | 29,472,684 | 287,812,058 |
| 9 | 1,443,089,332 | 234,856,175 | 24,866,227 | 259,722,402 |
| 10 | 1,227,237,680 | 215,851,652 | 20,841,612 | 236,693,264 |
| 11 | 1,061,370,868 | 165,866,812 | 17,329,560 | 183,196,372 |
| 12 | 931,641,928 | 129,728,940 | 14,648,806 | 144,377,746 |
| 13 | 813,076,222 | 118,565,706 | 12,534,386 | 131,100,092 |
| 14 | 703,596,426 | 109,479,796 | 10,588,396 | 120,068,192 |
| 15 | 607,866,864 | 95,729,562 | 8,818,278 | 104,547,840 |
| 16 | 519,783,052 | 88,083,812 | 7,271,246 | 95,355,058 |
| 17 | 445,294,103 | 74,488,949 | 5,914,815 | 80,403,764 |
| 18 | 381,649,876 | 63,644,227 | 4,832,545 | 68,476,772 |
| 19 | 327,805,514 | 53,844,362 | 3,970,736 | 57,815,098 |
| 20 | 273,244,742 | 54,560,772 | 3,254,326 | 57,815,098 |
| 21 | 217,956,193 | 55,288,549 | 2,526,549 | 57,815,098 |
| 22 | 171,022,824 | 46,933,369 | 1,834,453 | 48,767,822 |
| 23 | 128,819,865 | 42,202,959 | 1,298,795 | 43,501,754 |
| 24 | 92,509,011 | 36,310,854 | 855,748 | 37,166,602 |
| 25 | 64,972,697 | 27,536,314 | 520,304 | 28,056,618 |
| 26 | 42,897,489 | 22,075,208 | 304,428 | 22,379,636 |
| 27 | 28,201,755 | 14,695,734 | 168,740 | 14,864,474 |
| 28 | 17,354,486 | 10,847,269 | 104,409 | 10,951,678 |
| 29 | 8,715,705 | 8,638,781 | 56,945 | 8,695,726 |
| 30 | 3,024,484 | 5,691,221 | 23,889 | 5,715,110 |
| 31 | 0 | 3,024,484 | 6,806 | 3,031,290 |

国民健康保険病院事業会計

1 業務の概要

(1) 業務の状況

当年度は、平成28年度に策定された「第2期庄原市立西城市民病院経営改革プラン」に基づき、目標達成に向け、職員一丸となって経営改善に努められている。

平成27年度以降の業務の推移は第1表のとおりであり、入院・外来延患者数は、54,784人で前年度に比べ894人(1.7%)増加している。

介護サービス事業所延利用者数は14,911人で、前年度に比べ1,437人(8.8%)減少し、介護老人保健施設延利用者数は17,478人で、前年度に比べ267人(1.5%)減少している。

職員数は、前年度と同じ124人となっている。

<第1表> 業務の推移

| 区 分 | 単位 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 | 平成27年度 | 前年度比較 | |
|---------------------------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|
| | | | | | | | 増 減 | 増減率(%) |
| 病 床 数 | 床 | 54 | 54 | 54 | 54 | 54 | 0 | 0.0 |
| 入院・外来延患者数 | 人 | 54,784 | 53,890 | 53,096 | 53,787 | 51,637 | 894 | 1.7 |
| 入 院 延患者数 | 年 間 | 16,180 | 15,678 | 16,111 | 15,958 | 16,494 | 502 | 3.2 |
| | 1 日 平 均 | 44.2 | 43.0 | 44.1 | 43.7 | 45.1 | 1.2 | 2.8 |
| 外 来 延患者数 | 年 間 | 38,604 | 38,212 | 36,985 | 37,829 | 35,143 | 392 | 1.0 |
| | 1 日 平 均 | 158.9 | 156.6 | 152.2 | 155.7 | 145.2 | 2.3 | 1.5 |
| 病 床 利 用 率 | % | 81.9 | 79.5 | 81.7 | 81.0 | 83.5 | 2.4 | - |
| 平均在院日数(一般病床) | 日 | 19.2 | 18.3 | 19.7 | 17.3 | 18.4 | 0.9 | 4.9 |
| 平 均 通 院 回 数 | 回 | 31.9 | 31.3 | 26.0 | 25.3 | 16.7 | 0.6 | 1.9 |
| 健 診 者 数 | 人 | 1,332 | 1,257 | 1,355 | 1,431 | 1,424 | 75 | 6.0 |
| 老人介護支援センター西城 延 利 用 者 数 | 人 | 479 | 622 | 507 | 542 | 479 | △ 143 | △ 23.0 |
| 介護サービス事業所延利用者数 | 人 | 14,911 | 16,348 | 15,492 | 13,608 | 12,778 | △ 1,437 | △ 8.8 |
| 介護老人保健施設延利用者数 | 人 | 17,478 | 17,745 | 17,699 | 16,894 | 16,954 | △ 267 | △ 1.5 |
| 職 員 数 | 人 | 124 | 124 | 128 | 124 | 119 | 0 | 0.0 |
| 上記職員数のうち医師数 | 人 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | 1 | 16.7 |

※1 病床利用率 = (入院延患者数 ÷ 年延病床数) × 100

2 職員数は各年度末の数値で、常時雇用職員数である。

(2) 診療科別入院・外来延患者数の状況

平成27年度以降の診療科別入院・外来延患者数の推移は第2表のとおりである。

<第2表> 診療科別入院・外来延患者数の推移

(単位：人、%)

| 科 別 | 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 | 平成27年度 | 前年度比較 | |
|-----------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|
| | | | | | | | 増 減 | 増減率 |
| 内 科 | 入 院 | 12,675 | 13,824 | 14,051 | 13,590 | 14,183 | △ 1,149 | △ 8.3 |
| | 外 来 | 17,976 | 18,877 | 18,689 | 18,842 | 17,957 | △ 901 | △ 4.8 |
| | 計 | 30,651 | 32,701 | 32,740 | 32,432 | 32,140 | △ 2,050 | △ 6.3 |
| 外 科 | 入 院 | 292 | 972 | 972 | 886 | 721 | △ 680 | △ 70.0 |
| | 外 来 | 3,812 | 4,689 | 4,242 | 4,084 | 2,711 | △ 877 | △ 18.7 |
| | 計 | 4,104 | 5,661 | 5,214 | 4,970 | 3,432 | △ 1,557 | △ 27.5 |
| 整 形 外 科 | 入 院 | 3,213 | 882 | 1,088 | 1,482 | 1,590 | 2,331 | 264.3 |
| | 外 来 | 11,247 | 8,874 | 8,383 | 9,374 | 8,785 | 2,373 | 26.7 |
| | 計 | 14,460 | 9,756 | 9,471 | 10,856 | 10,375 | 4,704 | 48.2 |
| 精 神 神 経 科 | 入 院 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 外 来 | 256 | 235 | 315 | 282 | 262 | 21 | 8.9 |
| | 計 | 256 | 235 | 315 | 282 | 262 | 21 | 8.9 |
| 歯 科 | 入 院 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 外 来 | 5,064 | 5,209 | 5,130 | 5,028 | 5,255 | △ 145 | △ 2.8 |
| | 計 | 5,064 | 5,209 | 5,130 | 5,028 | 5,255 | △ 145 | △ 2.8 |
| 婦 人 科 | 入 院 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 外 来 | 16 | 18 | 16 | 20 | 30 | △ 2 | △ 11.1 |
| | 計 | 16 | 18 | 16 | 20 | 30 | △ 2 | △ 11.1 |
| 脳 神 経 外 科 | 入 院 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 外 来 | 233 | 310 | 210 | 199 | 143 | △ 77 | △ 24.8 |
| | 計 | 233 | 310 | 210 | 199 | 143 | △ 77 | △ 24.8 |
| 合 計 | 入 院 | 16,180 | 15,678 | 16,111 | 15,958 | 16,494 | 502 | 3.2 |
| | 外 来 | 38,604 | 38,212 | 36,985 | 37,829 | 35,143 | 392 | 1.0 |
| 総 計 | | 54,784 | 53,890 | 53,096 | 53,787 | 51,637 | 894 | 1.7 |

(3) 事業別介護サービス事業所延利用者数の状況

平成27年度以降の事業別介護サービス事業所延利用者数の推移は、第3表のとおりである。

西城訪問看護ステーション利用者数は4,534人で、前年度に比べ381人(7.8%)減少し、訪問リハビリ事業所利用者数は576人で、前年度に比べ430人(42.7%)減少している。

<第3表> 事業別介護サービス事業所延利用者数の推移

(単位：人、%)

| 事 業 別 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 | 平成27年度 | 前年度比較 | |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|
| | | | | | | 増 減 | 増減率 |
| 西城訪問看護ステーション | 4,534 | 4,915 | 4,883 | 3,251 | 2,376 | △ 381 | △ 7.8 |
| 西城居宅介護支援事業所 | 1,308 | 1,526 | 1,116 | 905 | 1,015 | △ 218 | △ 14.3 |
| デイサービス事業所 | 6,070 | 6,309 | 5,942 | 5,967 | 6,093 | △ 239 | △ 3.8 |
| 通所リハビリテーション事業所 | 2,066 | 2,271 | 2,128 | 2,284 | 2,201 | △ 205 | △ 9.0 |
| 居宅療養管理指導事業所 | 357 | 321 | 308 | 338 | 464 | 36 | 11.2 |
| 訪問リハビリ事業所 | 576 | 1,006 | 1,115 | 863 | 629 | △ 430 | △ 42.7 |
| 計 | 14,911 | 16,348 | 15,492 | 13,608 | 12,778 | △ 1,437 | △ 8.8 |

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出（予算第3条）

収益的収支の予算執行状況についてみると、収入では予算額1,368,523千円に対し、決算額1,374,823,446円（税込）である。

収入の主なものは、入院診療収入440,437,120円、外来診療収入304,605,056円、老人保健施設収入232,198,614円である。

支出では予算額1,367,774千円に対し、決算額1,327,561,769円（税込）で、執行率97.1%、不用額40,212,231円を生じている。

支出の主なものは、給料、手当、賃金、法定福利費等の給与費816,584,829円、薬品費、医療材料費等の材料費93,512,034円、委託料、負担金、賃借料等の経費330,221,159円である。

<第4表> 収益的収支の状況

(単位：円、%)

| 区 分 | 予算現額 | 決算額(税込) | 予算現額対決算額 | |
|-----------|---------------|---------------|--------------|-------|
| | | | 増減額 | 比率 |
| 医 業 収 益 | 1,181,823,000 | 1,190,350,814 | 8,527,814 | 100.7 |
| 入院診療収入 | 424,214,000 | 440,437,120 | 16,223,120 | 103.8 |
| 外来診療収入 | 294,007,000 | 304,605,056 | 10,598,056 | 103.6 |
| その他の診療収入 | 219,434,000 | 213,110,024 | △ 6,323,976 | 97.1 |
| 老人保健施設収入 | 244,168,000 | 232,198,614 | △ 11,969,386 | 95.1 |
| 医 業 外 収 益 | 186,700,000 | 184,472,632 | △ 2,227,368 | 98.8 |
| 受取利息配当金 | 17,000 | 90 | △ 16,910 | 0.5 |
| 他会計補助金 | 3,957,000 | 3,957,000 | 0 | 100.0 |
| 他会計負担金 | 150,233,000 | 150,233,000 | 0 | 100.0 |
| 県支出金 | 4,876,000 | 4,876,000 | 0 | 100.0 |
| 長期前受金戻入 | 15,380,000 | 15,583,909 | 203,909 | 101.3 |
| 診療外収益 | 4,623,000 | 3,520,037 | △ 1,102,963 | 76.1 |
| 雑収益 | 7,614,000 | 6,302,596 | △ 1,311,404 | 82.8 |
| 特 別 収 益 | 0 | 0 | 0 | - |
| そ の 他 | 0 | 0 | 0 | - |
| 合 計 | 1,368,523,000 | 1,374,823,446 | 6,300,446 | 100.5 |

支 出

(単位：円、%)

| 区 分 | 予算現額 | 決算額(税込) | 不用額 | 執行率 |
|------------------------------|---------------|---------------|-------------|-----------|
| 医 業 費 用 | 1,343,801,000 | 1,307,586,144 | 36,214,856 | 97.3 |
| 給 与 費 | 836,452,000 | 816,584,829 | 19,867,171 | 97.6 |
| 材 料 費 | 95,844,000 | 93,512,034 | 2,331,966 | 97.6 |
| 経 費 | 345,707,000 | 330,221,159 | 15,485,841 | 95.5 |
| 減 価 償 却 費 | 63,136,000 | 63,108,623 | 27,377 | 100.0 |
| 資 産 減 耗 費 | 2,000 | 2,842,136 | △ 2,840,136 | 142,106.8 |
| 研 究 研 修 費 | 2,660,000 | 1,317,363 | 1,342,637 | 49.5 |
| 医 業 外 費 用 | 23,973,000 | 19,975,625 | 3,997,375 | 83.3 |
| 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費 | 7,271,000 | 6,767,990 | 503,010 | 93.1 |
| 雑 損 失 | 1,000 | 0 | 1,000 | 0.0 |
| 雑 支 出 | 11,701,000 | 9,478,835 | 2,222,165 | 81.0 |
| 消 費 税 | 5,000,000 | 3,728,800 | 1,271,200 | 74.6 |
| 特 別 損 失 | 0 | 0 | 0 | - |
| そ の 他 | 0 | 0 | 0 | - |
| 合 計 | 1,367,774,000 | 1,327,561,769 | 40,212,231 | 97.1 |

(2) 資本的収入及び支出（予算第4条）

資本的収支の予算執行状況についてみると、収入では予算額92,704千円に対し、決算額92,704千円（税込）である。

収入の主なものは、医療用機械器具の購入に充当された企業債51,200千円である。

支出では予算額118,163千円に対し、決算額118,162,465円（税込）で、執行率100.0%、不用額535円を生じている。

支出の主なものは、CT撮影装置等の固定資産購入費（建設改良費）62,577,719円である。

資本的収入額が資本的支出に対して不足する額25,458,465円は、過年度分損益勘定留保資金で全額補填されている。

<第5表> 資本的収支の状況

収 入

(単位：円、%)

| 区 分 | 予算現額 | 決算額(税込) | 予算現額対決算額 | |
|-------------|------------|------------|----------|-------|
| | | | 増 減 額 | 比 率 |
| 出 資 金 | 36,098,000 | 36,098,000 | 0 | 100.0 |
| 他 会 計 出 資 金 | 36,098,000 | 36,098,000 | 0 | 100.0 |
| 企 業 債 | 51,200,000 | 51,200,000 | 0 | 100.0 |
| 企 業 債 | 51,200,000 | 51,200,000 | 0 | 100.0 |
| 補 助 金 | 5,406,000 | 5,406,000 | 0 | 100.0 |
| 他 会 計 補 助 金 | 5,406,000 | 5,406,000 | 0 | 100.0 |
| 合 計 | 92,704,000 | 92,704,000 | 0 | 100.0 |

支 出 (単位：円、%)

| 区 分 | 予算現額 | 決算額(税込) | 不用額 | 執行率 |
|---------|-------------|-------------|-----|-------|
| 建設改良費 | 62,578,000 | 62,577,719 | 281 | 100.0 |
| 固定資産購入費 | 62,578,000 | 62,577,719 | 281 | 100.0 |
| 企業債償還金 | 55,585,000 | 55,584,746 | 254 | 100.0 |
| 企業債償還金 | 55,585,000 | 55,584,746 | 254 | 100.0 |
| 合 計 | 118,163,000 | 118,162,465 | 535 | 100.0 |

(3) 企業債(予算第5条)

企業債の借入は次のとおりで、議決予算(51,200千円)に定められた範囲内で執行され、医療機械器具整備に充当されている。その内訳は、CT撮影装置整備分35,000千円、一般撮影装置整備分16,200千円である。

<第6表>

(単位：円、%)

| 目 的 | 限度額 | 借入額 | 資 金 別 | 利 率 | 償 還 |
|----------|------------|------------|-----------------|-------|-----|
| 医療機械器具整備 | 51,200,000 | 25,600,000 | 財政融資資金(病院事業債) | 0.002 | 5年 |
| | | 25,600,000 | 地方公共団体金融機構(過疎債) | 0.002 | 5年 |
| 合 計 | 51,200,000 | 51,200,000 | — | — | — |

(4) 一時借入金(予算第6条)

限度額は200,000千円であるが、当年度中の借り入れはない。

(5) 議会の議決を経なければ流用できない経費(予算第7条)

議会の議決を経なければ流用できない経費は、職員給与費及び交際費であるが、いずれも流用はなく議決予算額の範囲内で執行されている。

<第7表>

(単位：円、%)

| 区 分 | 議決予算額 | 決 算 額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|-----------|-------------|-------------|------------|-------|
| 職 員 給 与 費 | 836,452,000 | 816,584,829 | 19,867,171 | 97.6 |
| 交 際 費 | 200,000 | 88,880 | 111,120 | 44.4 |

(6) 他会計からの補助金(予算第8条)

国民健康保険特別会計からの補助金を次のとおり受け入れている。

<第8表>

(単位：円、%)

| 区 分 | 議決予算額 | 決 算 額 | 差 引 額 | 比 率 |
|-------|-----------|-----------|-------|-------|
| 補 助 金 | 9,363,000 | 9,363,000 | 0 | 100.0 |

(7) たな卸資産購入限度額(予算第9条)

たな卸資産の購入は、議決予算額の限度内で次のとおり執行されている。

<第9表>

(単位：円、%)

| 購入限度額(議決) | 決 算 額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|------------|------------|-----------|-------|
| 63,308,000 | 59,245,515 | 4,062,485 | 93.6 |

3 経営成績（損益計算書）

（1）損益の状況

当年度の経営成績の概要は、医業損失98,274,105円、経常利益47,171,914円、当年度純利益47,171,914円を計上し、黒字決算となっている。

医業収益1,186,178,812円に対し、医業費用は1,284,452,917円で、差し引き98,274,105円の医業損失を生じており、前年度の医業損失に比べ25,806,177円（35.6%）収支が悪化している。主な要因は、給与費が増加したことに伴い、医業費用が増加したことによるものである。

次に医業外収益183,774,789円に対し、医業外費用は38,328,770円で、医業損失に医業外収益及び医業外費用を加減した結果、経常利益は47,171,914円で、前年度に比べ25,537,789円（35.1%）減少している。主な要因は、医業収支が悪化したことによるものである。

当年度純利益は、特別利益と特別損失の計上がないため、経常利益と同額の47,171,914円である。

当年度純利益に前年度繰越欠損金679,417,776円を加えた当年度未処理欠損金は632,245,862円で、前年度に比べ6.9%減少している。

<第10表> 経営成績の推移

（単位：円、%）

| 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 | 平成27年度 | 前年度比較 | |
|---------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------|
| | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| A 医業収益 | 1,186,178,812 | 1,180,510,163 | 1,190,207,000 | 1,176,677,294 | 1,170,537,631 | 5,668,649 | 0.5 |
| B 医業費用 | 1,284,452,917 | 1,252,978,091 | 1,261,381,129 | 1,236,321,793 | 1,227,641,193 | 31,474,826 | 2.5 |
| C 医業損益A-B | △ 98,274,105 | △ 72,467,928 | △ 71,174,129 | △ 59,644,499 | △ 57,103,562 | △ 25,806,177 | 35.6 |
| D 医業外収益 | 183,774,789 | 177,385,949 | 174,958,054 | 164,681,333 | 144,739,636 | 6,388,840 | 3.6 |
| E 医業外費用 | 38,328,770 | 32,208,318 | 41,661,811 | 33,867,135 | 34,760,982 | 6,120,452 | 19.0 |
| F 経常損益C+D-E | 47,171,914 | 72,709,703 | 62,122,114 | 71,169,699 | 52,875,092 | △ 25,537,789 | △ 35.1 |
| G 特別利益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — |
| H 特別損失 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — |
| I 当年度純損益 F+G-H | 47,171,914 | 72,709,703 | 62,122,114 | 71,169,699 | 52,875,092 | △ 25,537,789 | △ 35.1 |
| J △前年度繰越 欠損金 | △ 679,417,776 | △ 752,127,479 | △ 814,249,593 | △ 885,419,292 | △ 938,294,384 | 72,709,703 | △ 9.7 |
| K △当年度未処理 欠損金I+J | △ 632,245,862 | △ 679,417,776 | △ 752,127,479 | △ 814,249,593 | △ 885,419,292 | 47,171,914 | △ 6.9 |
| L 総収益A+D+G | 1,369,953,601 | 1,357,896,112 | 1,365,165,054 | 1,341,358,627 | 1,315,277,267 | 12,057,489 | 0.9 |
| M 総費用B+E+H | 1,322,781,687 | 1,285,186,409 | 1,303,042,940 | 1,270,188,928 | 1,262,402,175 | 37,595,278 | 2.9 |

(2) 収益の状況

医業収益は1,186,178,812円で、前年度に比べ5,668,649円（0.5%）増加している。主な要因は、入院患者の増加に伴い、入院診療収入が増加したことによるものである。

医業外収益は183,774,789円で、前年度に比べ6,388,840円（3.6%）増加している。主な要因は、一般会計繰入金の「医師確保対策に要する経費」分等の増加により他会計負担金が増加したことによるものである。

<第11表> 収益の対前年度比較表

(単位：円、%)

| 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度比較 | |
|-----------|---------------|---------------|--------------|--------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 医 業 収 益 | 1,186,178,812 | 1,180,510,163 | 5,668,649 | 0.5 |
| 入院診療収入 | 440,018,831 | 420,673,617 | 19,345,214 | 4.6 |
| 外来診療収入 | 304,043,050 | 294,374,618 | 9,668,432 | 3.3 |
| その他診療収入 | 209,918,317 | 224,275,525 | △ 14,357,208 | △ 6.4 |
| 老人保健施設収入 | 232,198,614 | 241,186,403 | △ 8,987,789 | △ 3.7 |
| 医 業 外 収 益 | 183,774,789 | 177,385,949 | 6,388,840 | 3.6 |
| 受取利息及び配当金 | 90 | 123 | △ 33 | △ 26.8 |
| 他会計補助金 | 3,957,000 | 3,810,000 | 147,000 | 3.9 |
| 他会計負担金 | 150,233,000 | 141,634,000 | 8,599,000 | 6.1 |
| 県支出金 | 4,876,000 | 3,326,000 | 1,550,000 | 46.6 |
| 長期前受金戻入 | 15,583,909 | 17,180,916 | △ 1,597,007 | △ 9.3 |
| 診療外収益 | 3,209,369 | 4,217,052 | △ 1,007,683 | △ 23.9 |
| 雑収益 | 5,915,421 | 7,217,858 | △ 1,302,437 | △ 18.0 |
| 特 別 利 益 | 0 | 0 | 0 | - |
| 特 別 利 益 | 0 | 0 | 0 | - |
| 合 計 | 1,369,953,601 | 1,357,896,112 | 12,057,489 | 0.9 |

(3) 費用の状況

医業費用は1,284,452,917円で前年度に比べ31,474,826円（2.5%）増加している。主な要因は、内科常勤医師1名の配置等に伴い、給与費が増加したことによるものである。

医業外費用は38,328,770円で前年度に比べ6,120,452円（19.0%）増加している。主な要因は、消費税精算による雑支出が増加したことによるものである。

<第12表> 費用の対前年度比較表

(単位：円、%)

| 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前 年 度 比 較 | |
|---------------|---------------|---------------|-------------|---------|
| | | | 増 減 額 | 増 減 率 |
| 医 業 費 用 | 1,284,452,917 | 1,252,978,091 | 31,474,826 | 2.5 |
| 給 与 費 | 815,795,961 | 782,466,794 | 33,329,167 | 4.3 |
| 材 料 費 | 90,326,931 | 87,522,856 | 2,804,075 | 3.2 |
| 経 費 | 311,167,272 | 314,814,005 | △ 3,646,733 | △ 1.2 |
| 減 価 償 却 費 | 63,108,623 | 66,642,784 | △ 3,534,161 | △ 5.3 |
| 資 産 減 耗 費 | 2,842,136 | 180,900 | 2,661,236 | 1,471.1 |
| 研 究 研 修 費 | 1,211,994 | 1,350,752 | △ 138,758 | △ 10.3 |
| 医 業 外 費 用 | 38,328,770 | 32,208,318 | 6,120,452 | 19.0 |
| 支払利息及び企業債取扱諸費 | 6,767,990 | 7,767,213 | △ 999,223 | △ 12.9 |
| 雑 損 失 | 0 | 0 | 0 | - |
| 雑 支 出 | 31,560,780 | 24,441,105 | 7,119,675 | 29.1 |
| 特 別 損 失 | 0 | 0 | 0 | - |
| そ の 他 特 別 損 失 | 0 | 0 | 0 | - |
| 合 計 | 1,322,781,687 | 1,285,186,409 | 37,595,278 | 2.9 |

(4) 一般会計繰入金の状況

一般会計からの繰入金は234,579千円で、前年度に比べ8,331千円(3.7%)増加している。主な要因は、基準内繰入で「不採算地区病院の運営に要する経費」や「医師確保対策に要する経費」分が増加したことによるものである。

収益的収入と資本的収入を合わせた総収入1,467,527,446円に占める繰入金の割合は、16.0%である。

<第13表> 一般会計繰入金の内訳

(単位：円、%)

| 区 分 | | 令和元年度 | 平成30年度 | 前 年 度 比 較 | |
|----------------------|------------------------|---------------------------|---------------------------|-------------|--------|
| | | | | 増 減 額 | 増減率 |
| 基準 内 繰 入 | 収益的収入 | 185,865,000 | 177,947,000 | 7,918,000 | 4.4 |
| | 医業収益 | 48,248,000 | 48,929,000 | △ 681,000 | △ 1.4 |
| | 救急医療の確保に要する経費 | 39,530,000 | 39,049,000 | 481,000 | 1.2 |
| | 保健衛生行政事務に要する経費 | 8,718,000 | 9,880,000 | △ 1,162,000 | △ 11.8 |
| | 医業外収益 | 137,617,000 | 129,018,000 | 8,599,000 | 6.7 |
| | 病院の建設改良に要する経費（企業債利息） | 4,460,000 | 5,145,000 | △ 685,000 | △ 13.3 |
| | 不採算地区病院の運営に要する経費 | 76,032,000 | 72,846,000 | 3,186,000 | 4.4 |
| | リハビリテーションに要する経費 | 2,250,000 | 2,250,000 | 0 | 0.0 |
| | 高度医療に要する経費 | 17,170,000 | 16,747,000 | 423,000 | 2.5 |
| | 公立病院改革プランに要する経費 | 500,000 | 500,000 | 0 | 0.0 |
| | 医師確保対策に要する経費 | 28,529,000 | 23,706,000 | 4,823,000 | 20.3 |
| | 基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費 | 8,676,000 | 7,824,000 | 852,000 | 10.9 |
| | 資本的収入 | 36,098,000 | 35,685,000 | 413,000 | 1.2 |
| | 病院の建設改良に要する経費（企業債元金） | 33,113,000 | 32,739,000 | 374,000 | 1.1 |
| 病院の建設改良に要する経費（建設改良費） | 2,985,000 | 2,946,000 | 39,000 | 1.3 | |
| 計 | 221,963,000 (15.1%) | 213,632,000 (15.3%) | 8,331,000 | 3.9 | |
| 基準 外 繰 入 | 収益的収入 | 12,616,000 | 12,616,000 | 0 | 0.0 |
| | 医業外収益 | 12,616,000 | 12,616,000 | 0 | 0.0 |
| | 地域包括ケアシステムの実施に要する経費 | 12,616,000 | 12,616,000 | 0 | 0.0 |
| | 計 | 12,616,000 (0.9%) | 12,616,000 (0.9%) | 0 | 0.0 |
| 合 計 | | 234,579,000 (16.0%) | 226,248,000 (16.2%) | 8,331,000 | 3.7 |
| 総収入（収益的収入及び資本的収入） | | 1,467,527,446 (100.0%) | 1,399,992,268 (100.0%) | 67,535,178 | 4.8 |

※決算額欄の括弧内の百分率の数値は、総収入に占める割合を示す。

4 財政状態（貸借対照表）

（1）資産の状況

資産は1,502,363,621円で、前年度に比べ72,966,577円（5.1%）増加している。

固定資産は854,266,731円で、前年度に比べ8,058,426円（0.9%）減少している。主な要因は、減価償却が行われたことにより建物やその他器具備品が減少したことによるものである。

流動資産は648,096,890円で、前年度に比べ81,025,003円（14.3%）増加している。主な要因は、現金預金が増加したことによるものである。

（2）負債の状況

負債は587,484,246円で、前年度に比べ10,303,337円（1.7%）減少している。

固定負債は252,864,173円で、前年度に比べ10,095,802円（3.8%）減少している。主な要因は、令和3年度以降に償還する企業債未償還残高が減少したことによるものである。

流動負債は159,660,916円で、前年度に比べ9,970,374円（6.7%）増加している。主な要因は、令和2年度に償還を予定している企業債償還金が増加したことによるものである。

繰延収益は174,959,157円で、前年度に比べ10,177,909円（5.5%）減少している。主な要因は、長期前受金が減少したことによるものである。

（3）資本の状況

資本は914,879,375円で、前年度に比べ83,269,914円（10.0%）増加している。

資本金は1,511,163,628円で、前年度に比べ36,098千円（2.4%）増加している。主な要因は、一般会計からの出資金により自己資本金が増加したことによるものである。

剰余金は596,284,253円の欠損で、前年度に比べ当年度純利益と同額の47,171,914円（7.3%）改善しており、累積欠損金も632,245,862円に減少している。

<第14表> 比較貸借対照表

(単位：円、%)

| 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前 年 度 比 較 | |
|---------------|---------------|---------------|--------------|--------|
| | | | 増 減 額 | 増 減 率 |
| 固 定 資 産 | 854,266,731 | 862,325,157 | △ 8,058,426 | △ 0.9 |
| 有 形 固 定 資 産 | 834,136,605 | 842,195,031 | △ 8,058,426 | △ 1.0 |
| 無 形 固 定 資 産 | 20,130,126 | 20,130,126 | 0 | 0.0 |
| 流 動 資 産 | 648,096,890 | 567,071,887 | 81,025,003 | 14.3 |
| 現 金 預 金 | 456,631,202 | 365,973,976 | 90,657,226 | 24.8 |
| 未 収 金 | 191,690,132 | 200,921,141 | △ 9,231,009 | △ 4.6 |
| 貸 倒 引 当 金 | △ 1,186,229 | △ 900,233 | △ 285,996 | 31.8 |
| 貯 蔵 品 | 961,785 | 1,077,003 | △ 115,218 | △ 10.7 |
| 有 価 証 券 | 0 | 0 | 0 | - |
| 資 産 合 計 | 1,502,363,621 | 1,429,397,044 | 72,966,577 | 5.1 |
| 固 定 負 債 | 252,864,173 | 262,959,975 | △ 10,095,802 | △ 3.8 |
| 企 業 債 | 252,864,173 | 262,959,975 | △ 10,095,802 | △ 3.8 |
| 流 動 負 債 | 159,660,916 | 149,690,542 | 9,970,374 | 6.7 |
| 一 時 借 入 金 | 0 | 0 | 0 | - |
| 企 業 債 | 67,164,482 | 61,453,426 | 5,711,056 | 9.3 |
| リ ー ス 債 務 | 51,746 | 51,746 | 0 | 0.0 |
| 未 払 金 | 27,642,987 | 23,256,330 | 4,386,657 | 18.9 |
| 預 り 有 価 証 券 | 0 | 0 | 0 | - |
| 引 当 金 | 57,021,000 | 57,760,000 | △ 739,000 | △ 1.3 |
| そ の 他 流 動 負 債 | 7,780,701 | 7,169,040 | 611,661 | 8.5 |
| 繰 延 収 益 | 174,959,157 | 185,137,066 | △ 10,177,909 | △ 5.5 |
| 長 期 前 受 金 | 442,890,329 | 443,359,329 | △ 469,000 | △ 0.1 |
| 長期前受金収益化累計額 | △ 267,931,172 | △ 258,222,263 | △ 9,708,909 | 3.8 |
| 負 債 合 計 | 587,484,246 | 597,787,583 | △ 10,303,337 | △ 1.7 |
| 資 本 金 | 1,511,163,628 | 1,475,065,628 | 36,098,000 | 2.4 |
| 自 己 資 本 金 | 1,511,163,628 | 1,475,065,628 | 36,098,000 | 2.4 |
| 剰 余 金 | △ 596,284,253 | △ 643,456,167 | 47,171,914 | △ 7.3 |
| 資 本 剰 余 金 | 35,961,609 | 35,961,609 | 0 | 0.0 |
| 欠 損 金 (△) | △ 632,245,862 | △ 679,417,776 | 47,171,914 | △ 6.9 |
| 資 本 合 計 | 914,879,375 | 831,609,461 | 83,269,914 | 10.0 |
| 負 債 資 本 合 計 | 1,502,363,621 | 1,429,397,044 | 72,966,577 | 5.1 |

5 企業債

当年度の借入額51,200千円を含む借入総額（発行総額）は887,900千円で、当年度に55,584,746円を償還したことにより償還累計額567,871,345円となり、未償還残高320,028,655円となっている。

また、当年度の企業債支払利息は6,767,990円で、企業債利息の残高は20,105,870円である。

<第15表> 企業債元金の推移

(単位：円、%)

| 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 | 平成27年度 | 前年度比較 | |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------|
| | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 借入額 | 51,200,000 | 0 | 74,800,000 | 0 | 0 | 51,200,000 | - |
| 償還額 | 55,584,746 | 55,172,254 | 46,723,428 | 39,283,900 | 40,399,257 | 412,492 | 0.7 |
| 未償還残高 | 320,028,655 | 324,413,401 | 379,585,655 | 351,509,083 | 390,792,983 | △ 4,384,746 | △ 1.4 |

<第16表> 企業債利息の推移

(単位：円、%)

| 区 分 | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 | 平成28年度 | 平成27年度 | 前年度比較 | |
|------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|--------|
| | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 支払利息 | 6,767,990 | 7,767,186 | 8,732,160 | 9,673,016 | 10,603,067 | △ 999,196 | △ 12.9 |
| 利息残高 | 20,105,870 | 26,870,571 | 34,637,757 | 43,351,131 | 53,024,147 | △ 6,764,701 | △ 25.2 |

6 キャッシュ・フローの状況

当年度における病院事業会計の現金預金は、期末残高456,631,202円となり、期首残高と比べて90,657,226円増加している。

業務活動によるキャッシュ・フローは111,430,305円で、前年度に比べ68,679,085円減少している。主な要因は、診療報酬の後払い等に係る「未収金の増減額」の減少によるものである。

投資活動によるキャッシュ・フローは△52,486,333円で、前年度に比べ47,182,333円減少している。主な要因は、CT撮影装置等の購入に係る「有形固定資産の取得による支出」の減少によるものである。

財務活動によるキャッシュ・フローは31,713,254円で、前年度に比べ51,220,775円増加している。主な要因は、固定資産の購入に係る「建設改良費等の財源に充てるための企業債の収入」の増加によるものである。

<第17表> 比較キャッシュ・フロー計算書（間接法）

（単位：円）

| 科 目 | 令和元年度 | 平成30年度 | 前年度比較 |
|-----------------------------|--------------|--------------|--------------|
| | | | 増減額 |
| 1 業務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 当年度純利益 | 47,171,914 | 72,709,703 | △ 25,537,789 |
| 減価償却費 | 63,108,623 | 66,642,784 | △ 3,534,161 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △ 609,000 | 3,707,000 | △ 4,316,000 |
| 法定福利費引当金の増減額（△は減少） | △ 130,000 | 1,295,000 | △ 1,425,000 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | 285,996 | 73,468 | 212,528 |
| 長期前受金戻入額 | △ 15,583,909 | △ 17,180,916 | 1,597,007 |
| 受取利息及び受取配当金 | △ 90 | △ 123 | 33 |
| 支払利息 | 6,767,990 | 7,767,213 | △ 999,223 |
| 固定資産除却損 | 2,842,136 | 180,900 | 2,661,236 |
| 未収金の増減額（△は増加） | 9,231,009 | 49,566,393 | △ 40,335,384 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 115,218 | △ 73,910 | 189,128 |
| 未払金の増減額（△は減少） | 4,386,657 | 1,939,234 | 2,447,423 |
| その他流動負債の増減額（△は減少） | 611,661 | 1,249,734 | △ 638,073 |
| 小計 | 118,198,205 | 187,876,480 | △ 69,678,275 |
| 利息及び配当金の受取額 | 90 | 123 | △ 33 |
| 利息の支払額 | △ 6,767,990 | △ 7,767,213 | 999,223 |
| 計 | 111,430,305 | 180,109,390 | △ 68,679,085 |
| 2 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △ 57,892,333 | △ 7,352,000 | △ 50,540,333 |
| 国庫補助金等による収入 | 5,406,000 | 2,048,000 | 3,358,000 |
| 計 | △ 52,486,333 | △ 5,304,000 | △ 47,182,333 |
| 3 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 一時借入金の借入による収入 | 0 | 0 | 0 |
| 建設改良費等の財源に充てるための企業債の収入 | 51,200,000 | 0 | 51,200,000 |
| 建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出 | △ 55,584,746 | △ 55,172,254 | △ 412,492 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | 0 | △ 20,267 | 20,267 |
| 他会計からの出資による収入 | 36,098,000 | 35,685,000 | 413,000 |
| 計 | 31,713,254 | △ 19,507,521 | 51,220,775 |
| 現金預金の増加額 | 90,657,226 | 155,297,869 | △ 64,640,643 |
| 現金預金の期首残高 | 365,973,976 | 210,676,107 | 155,297,869 |
| 現金預金の期末残高 | 456,631,202 | 365,973,976 | 90,657,226 |

7 経営分析比率

当年度の経営分析比率の主なものは次のとおりである。なお、全国平均は総務省編「平成30年度版地方公営企業年鑑」の数値（特記が無い場合は、50床以上100床未満の全事業平均）を引用している。（※決算資料第5表参照）

（1）医業収支比率

医業収益と医業費用を比較し、収益性を見るための指標の1つであり、数値は100%以上かつ高いほど良好といえる。前年度に比べ1.9ポイント減少し92.3%となっている。

（全国平均：73.2%）

（2）自己資本構成比率

自己資本構成比率は、総資本に対する自己資本の占める割合で、大きいほど経営の健全性が高いとされている。前年度に比べ1.4ポイント増加し72.5%となっている。

（全国平均（経営主体：市）：30.8%）

（3）病床利用率

病床利用率は、病床の効率的稼働の状況を示す数値であり、高いほど空き病床が無い状態で利用されていることになる。前年度に比べ2.4ポイント増加し81.9%となっている。

（全国平均：64.3%）

（4）平均在院日数

平均在院日数は、診療報酬請求に係る一般病棟入院基本料の条件の一つとなるもので、看護配置基準10対1の入院基本料採用のために充たす条件は21日以内であり、前年度に比べ0.5日減少し19.2日となっている。

（全国平均：23.0日）

（5）職員給与費対医業収益比率

医業収益に占める職員給与費の割合である。この比率が高くなると固定費割合が高くなり、財政硬直化の原因となる。前年度に比べ2.5ポイント増加し68.8%となっている。

（全国平均：72.4%）

む す び

平成28年度に策定された「第2期庄原市立西城市民病院経営改革プラン（平成29年4月～令和4年3月）」（以下、「改革プラン」という。）策定から3年目となる当年度は、医師不足解消のための内科常勤医師1名の増員やCT撮影装置の更新により、安定的で良質な医療の提供に努めてこられたところである。

当年度の経営状況は、純利益4,717万円で、前年度に比べ2,554万円減少したが、5年連続の黒字決算となっている。

前年度繰越欠損金に当年度純利益を加えた当年度未処理欠損金は6億3,225万円に減少している。

経営成績については、平成27年度から看護配置基準10対1や地域包括ケア病床の設置の継続により、診療報酬の確保に努められるとともに、入院患者や外来患者の増加に伴う入院・外来診療収入が前年度に比べ増加したことにより、医業収益は11億8,618万円となっている。一方、内科常勤医師1名の配置等により、給与費が前年度に比べ増加し、医業費用は12億8,445万円となり、9,827万円の医業損失を生じている。

また、他会計負担金等が前年度に比べ増加したことにより、医業外収益は1億8,377万円となっている。一方、消費税精算による雑支出が前年度に比べ増加したことにより、医業外費用は3,833万円となり、結果として4,717万円の当年度純利益となっている。

平成28年度に策定された改革プランの収支計画と当年度実績を比較したところ、未達成の項目があるものの、当年度純利益4,717万円（計画2,521万円）、累積欠損金6億3,225万円（計画8億3,290万円）、経常収支比率103.6%（計画101.9%）、医業収支比率92.3%（計画91.3%）等で計画を上回っている。

新型コロナウイルス感染症対策については、3月には発熱外来を設置され、院内感染の予防が行われているところであるが、同感染症への警戒感から外来患者が減少しており、病院の収益に影響を与えている。

今後、財源確保のため国・県の動向について情報収集を図られ、改革プランに基づく財政基盤の確立と経営の安定に取り組まれるとともに、改革プランの基本理念である「市民の皆さまが安心して暮らせ 心の支えとなる病院」として地域医療の確保と健診事業及び各種事業の推進に努められたい。

国民健康保険病院事業会計
決算審査資料

資 料 目 次

| | | |
|-----|---------------------------|-------|
| 第1表 | 国民健康保険病院事業予算決算対照表（損益取引の部） | 48～49 |
| 第2表 | 国民健康保険病院事業予算決算対照表（資本取引の部） | 50～51 |
| 第3表 | 比較損益計算書 | 52 |
| 第4表 | 比較貸借対照表 | 53 |
| 第5表 | 経営指標 | 54～55 |
| 第6表 | 企業債償還元金及び利子所要額表 | 56 |

第1表

国民健康保険病院事業予算決算対照表（損益取引の部）

収入

| 区 分 | 予算現額 | 令和元年度決算額 税込 | 構成比率 |
|--------------|----------------------|----------------------|--------------|
| 医業収益 | 1,181,823,000 | 1,190,350,814 | 86.6 |
| 1 入院診療収入 | 424,214,000 | 440,437,120 | 32.0 |
| 2 外来診療収入 | 294,007,000 | 304,605,056 | 22.2 |
| 3 その他診療収入 | 219,434,000 | 213,110,024 | 15.5 |
| 4 老人保健施設収入 | 244,168,000 | 232,198,614 | 16.9 |
| 医業外収益 | 186,700,000 | 184,472,632 | 13.4 |
| 1 受取利息配当金 | 17,000 | 90 | 0.0 |
| 2 他会計補助金 | 3,957,000 | 3,957,000 | 0.3 |
| 3 他会計負担金 | 150,233,000 | 150,233,000 | 10.9 |
| 4 県支出金 | 4,876,000 | 4,876,000 | 0.4 |
| 5 長期前受金戻入 | 15,380,000 | 15,583,909 | 1.1 |
| 6 診療外収益 | 4,623,000 | 3,520,037 | 0.3 |
| 7 雑収益 | 7,614,000 | 6,302,596 | 0.5 |
| 特別利益 | 0 | 0 | 0.0 |
| 1 その他 | 0 | 0 | 0.0 |
| 収益合計 | 1,368,523,000 | 1,374,823,446 | 100.0 |

支出

| 区 分 | 予算現額 | 令和元年度決算額 税込 | 構成 比率 | 地方公営企業法第26条 第2項の規定による繰越額 |
|-----------------|----------------------|----------------------|--------------|-----------------------------|
| 医業費用 | 1,343,801,000 | 1,307,586,144 | 98.5 | 0 |
| 1 給与費 | 836,452,000 | 816,584,829 | 61.5 | 0 |
| 2 材料費 | 95,844,000 | 93,512,034 | 7.0 | 0 |
| 3 経費 | 345,707,000 | 330,221,159 | 24.9 | 0 |
| 4 減価償却費 | 63,136,000 | 63,108,623 | 4.8 | 0 |
| 5 資産減耗費 | 2,000 | 2,842,136 | 0.2 | 0 |
| 6 研究研修費 | 2,660,000 | 1,317,363 | 0.1 | 0 |
| 医業外費用 | 23,973,000 | 19,975,625 | 1.5 | 0 |
| 1 支払利息及び企業債取扱諸費 | 7,271,000 | 6,767,990 | 0.5 | 0 |
| 2 雑損失 | 1,000 | 0 | 0.0 | 0 |
| 3 雑支出 | 11,701,000 | 9,478,835 | 0.7 | 0 |
| 4 消費税 | 5,000,000 | 3,728,800 | 0.3 | 0 |
| 特別損失 | 0 | 0 | 0.0 | 0 |
| 1 その他 | 0 | 0 | 0.0 | 0 |
| 費用合計 | 1,367,774,000 | 1,327,561,769 | 100.0 | 0 |
| 収支差引額 | 749,000 | 47,261,677 | - | - |

(単位：円、%)

| 予算現額対決算額 | | 平成30年度決算額 税 込 | 前年度比較 | |
|--------------------|--------------|----------------------|-------------------|--------------|
| 増 減 | 比率 | | 増 減 | 比 較 |
| 8,527,814 | 100.7 | 1,184,098,707 | 6,252,107 | 100.5 |
| 16,223,120 | 103.8 | 420,860,069 | 19,577,051 | 104.7 |
| 10,598,056 | 103.6 | 294,756,924 | 9,848,132 | 103.3 |
| △ 6,323,976 | 97.1 | 232,094,424 | △ 18,984,400 | 91.8 |
| △ 11,969,386 | 95.1 | 236,387,290 | △ 4,188,676 | 98.2 |
| △ 2,227,368 | 98.8 | 178,160,561 | 6,312,071 | 103.5 |
| △ 16,910 | 0.5 | 123 | △ 33 | 73.2 |
| 0 | 100.0 | 3,810,000 | 147,000 | 103.9 |
| 0 | 100.0 | 141,634,000 | 8,599,000 | 106.1 |
| 0 | 100.0 | 3,326,000 | 1,550,000 | 146.6 |
| 203,909 | 101.3 | 17,180,916 | △ 1,597,007 | 90.7 |
| △ 1,102,963 | 76.1 | 4,554,384 | △ 1,034,347 | 77.3 |
| △ 1,311,404 | 82.8 | 7,655,138 | △ 1,352,542 | 82.3 |
| 0 | - | 0 | 0 | - |
| 0 | - | 0 | 0 | - |
| 6,300,446 | 100.5 | 1,362,259,268 | 12,564,178 | 100.9 |

(単位：円、%)

| 不用額 | | 平成30年度決算額 税 込 | 前年度比較 | |
|-------------------|-------------|----------------------|---------------------|--------------|
| 増 減 | 執行率 | | 増 減 | 比 較 |
| 36,214,856 | 97.3 | 1,273,473,960 | 34,112,184 | 102.7 |
| 19,867,171 | 97.6 | 783,194,642 | 33,390,187 | 104.3 |
| 2,331,966 | 97.6 | 90,338,466 | 3,173,568 | 103.5 |
| 15,485,841 | 95.5 | 331,658,477 | △ 1,437,318 | 99.6 |
| 27,377 | 100.0 | 66,642,784 | △ 3,534,161 | 94.7 |
| △ 2,840,136 | 142,106.8 | 180,900 | 2,661,236 | 1,571.1 |
| 1,342,637 | 49.5 | 1,458,691 | △ 141,328 | 90.3 |
| 3,997,375 | 83.3 | 15,912,241 | 4,063,384 | 125.5 |
| 503,010 | 93.1 | 7,767,213 | △ 999,223 | 87.1 |
| 1,000 | 0.0 | 0 | 0 | - |
| 2,222,165 | 81.0 | 4,615,628 | 4,863,207 | 205.4 |
| 1,271,200 | 74.6 | 3,529,400 | 199,400 | 105.6 |
| 0 | - | 0 | 0 | - |
| 0 | - | 0 | 0 | - |
| 40,212,231 | 97.1 | 1,289,386,201 | 38,175,568 | 103.0 |
| - | - | 72,873,067 | △ 25,611,390 | 64.9 |

第 2 表

国民健康保険病院事業予算決算対照表（資本取引の部）

| 区 分 | 予 算 額 | 地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額に係る 財源充当額 | 予算現額 | 令和元年度 決算額 | 構成 比率 |
|---------------------------|-------------|--|-------------|--------------|----------|
| 資 本 的 収 入 | 92,704,000 | 0 | 92,704,000 | 92,704,000 | 78.5 |
| 1 出 資 金 | 36,098,000 | 0 | 36,098,000 | 36,098,000 | 30.5 |
| 2 企 業 債 | 51,200,000 | 0 | 51,200,000 | 51,200,000 | 43.3 |
| 3 補 助 金 | 5,406,000 | 0 | 5,406,000 | 5,406,000 | 4.6 |
| 収 入 不 足 補 填 財 源 | 25,459,000 | — | 25,459,000 | 25,458,465 | 21.5 |
| 1 過 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金 | 25,459,000 | — | 25,459,000 | 25,458,465 | 21.5 |
| 合 計 | 118,163,000 | 0 | 118,163,000 | 118,162,465 | 100.0 |

| 区 分 | 予 算 額 | 地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額 | 予算現額 | 令和元年度 決算額 | 構成 比率 |
|---------------|-------------|------------------------------|-------------|--------------|----------|
| 資 本 的 支 出 | 118,163,000 | 0 | 118,163,000 | 118,162,465 | 100.0 |
| 1 建 設 改 良 費 | 62,578,000 | 0 | 62,578,000 | 62,577,719 | 53.0 |
| 2 企 業 債 償 還 金 | 55,585,000 | 0 | 55,585,000 | 55,584,746 | 47.0 |
| 合 計 | 118,163,000 | 0 | 118,163,000 | 118,162,465 | 100.0 |

(単位:円、%)

| 予算現額対決算額 | | 平成30年度 決算額 | 平成30年度比較 | | |
|----------|-------|---------------|------------|------------|-------|
| 増 | 減 | | 比率 | 増 | 減 |
| | 0 | 100.0 | 37,733,000 | 54,971,000 | 245.7 |
| | 0 | 100.0 | 35,685,000 | 413,000 | 101.2 |
| | 0 | 100.0 | 0 | 51,200,000 | 皆増 |
| | 0 | 100.0 | 2,048,000 | 3,358,000 | 264.0 |
| | △ 535 | 100.0 | 25,399,681 | 58,784 | 100.2 |
| | △ 535 | 100.0 | 25,399,681 | 58,784 | 100.2 |
| | △ 535 | 100.0 | 63,132,681 | 55,029,784 | 187.2 |

(単位:円、%)

| 不用額 | | 平成30年度 決算額 | 平成30年度比較 | | |
|-----|-----|---------------|------------|------------|-------|
| 増 | 減 | | 執行率 | 増 | 減 |
| | 535 | 100.0 | 63,132,681 | 55,029,784 | 187.2 |
| | 281 | 100.0 | 7,960,427 | 54,617,292 | 786.1 |
| | 254 | 100.0 | 55,172,254 | 412,492 | 100.7 |
| | 535 | 100.0 | 63,132,681 | 55,029,784 | 187.2 |

第3表

比較損益計算書

(単位:円、%)

| 科 目 | 令和元年度 | | | 平成30年度 | | | 平成29年度 | | | 平成28年度 | | | 平成27年度 | | |
|----------------|----------------------|-------------|--------------|----------------------|-------------|--------------|----------------------|-------------|--------------|----------------------|-------------|--------------|----------------------|-------------|--------------|
| | 金額 | 構成比率 | すう勢比率 | 金額 | 構成比率 | すう勢比率 | 金額 | 構成比率 | すう勢比率 | 金額 | 構成比率 | すう勢比率 | 金額 | 構成比率 | すう勢比率 |
| 入院診療収入 | 440,018,831 | 32.1 | 98.0 | 420,673,617 | 31.0 | 93.7 | 440,335,023 | 32.3 | 98.1 | 439,043,164 | 32.7 | 97.8 | 448,959,877 | 34.1 | 100.0 |
| 外来診療収入 | 304,043,050 | 22.2 | 104.3 | 294,374,618 | 21.7 | 101.0 | 293,077,996 | 21.5 | 100.6 | 303,884,805 | 22.7 | 104.3 | 291,370,249 | 22.2 | 100.0 |
| その他診療収入 | 209,918,317 | 15.3 | 106.1 | 224,275,525 | 16.5 | 113.3 | 214,477,496 | 15.7 | 108.4 | 203,264,327 | 15.2 | 102.7 | 197,873,593 | 15.0 | 100.0 |
| 老人保健施設収入 | 232,198,614 | 16.9 | 99.9 | 241,186,403 | 17.8 | 103.8 | 242,316,485 | 17.7 | 104.3 | 230,484,998 | 17.2 | 99.2 | 232,333,912 | 17.7 | 100.0 |
| 医業収益合計 | 1,186,178,812 | 86.6 | 101.3 | 1,180,510,163 | 86.9 | 100.9 | 1,190,207,000 | 87.2 | 101.7 | 1,176,677,294 | 87.7 | 100.5 | 1,170,537,631 | 89.0 | 100.0 |
| 給与費 | 815,795,961 | 61.7 | 106.4 | 782,466,794 | 60.9 | 102.1 | 809,701,056 | 62.1 | 105.6 | 786,881,851 | 61.9 | 102.7 | 766,517,430 | 60.7 | 100.0 |
| 材料費 | 90,326,931 | 6.8 | 102.9 | 87,522,856 | 6.8 | 99.7 | 86,760,595 | 6.7 | 98.9 | 84,824,016 | 6.7 | 96.7 | 87,757,182 | 7.0 | 100.0 |
| 経費 | 311,167,272 | 23.5 | 102.2 | 314,814,005 | 24.5 | 103.4 | 308,927,620 | 23.7 | 101.4 | 305,273,693 | 24.0 | 100.2 | 304,541,646 | 24.1 | 100.0 |
| 減価償却費 | 63,108,623 | 4.8 | 94.1 | 66,642,784 | 5.2 | 99.4 | 52,049,021 | 4.0 | 77.6 | 57,273,608 | 4.5 | 85.4 | 67,043,895 | 5.3 | 100.0 |
| 資産減耗費 | 2,842,136 | 0.2 | 1,576.3 | 180,900 | 0.0 | 100.3 | 2,402,950 | 0.2 | 1,332.8 | 412,500 | 0.0 | 228.8 | 180,300 | 0.0 | 100.0 |
| 研究研修費 | 1,211,994 | 0.1 | 75.7 | 1,350,752 | 0.1 | 84.4 | 1,539,887 | 0.1 | 96.2 | 1,656,125 | 0.1 | 103.5 | 1,600,740 | 0.1 | 100.0 |
| 医業費用合計 | 1,284,452,917 | 97.1 | 104.6 | 1,252,978,091 | 97.5 | 102.1 | 1,261,381,129 | 96.8 | 102.7 | 1,236,321,793 | 97.3 | 100.7 | 1,227,641,193 | 97.2 | 100.0 |
| 医業損益 | △ 98,274,105 | - | 172.1 | △ 72,467,928 | - | 126.9 | △ 71,174,129 | - | 124.6 | △ 59,644,499 | - | 104.4 | △ 57,103,562 | - | 100.0 |
| 受取利息配当金 | 90 | 0.0 | 3.7 | 123 | 0.0 | 5.0 | 112 | 0.0 | 4.6 | 430 | 0.0 | 17.6 | 2,437 | 0.0 | 100.0 |
| 他会計補助金 | 3,957,000 | 0.3 | 73.0 | 3,810,000 | 0.3 | 70.3 | 3,498,000 | 0.3 | 64.6 | 3,395,000 | 0.3 | 62.7 | 5,418,000 | 0.4 | 100.0 |
| 他会計負担金 | 150,233,000 | 11.0 | 149.3 | 141,634,000 | 10.4 | 140.8 | 141,253,000 | 10.3 | 140.4 | 127,396,000 | 9.5 | 126.6 | 100,615,000 | 7.6 | 100.0 |
| 県支出金 | 4,876,000 | 0.4 | 129.6 | 3,326,000 | 0.2 | 88.4 | 4,036,000 | 0.3 | 107.3 | 4,036,000 | 0.3 | 107.3 | 3,761,000 | 0.3 | 100.0 |
| 長期前受金戻入 | 15,583,909 | 1.1 | 70.8 | 17,180,916 | 1.3 | 78.1 | 15,938,052 | 1.2 | 72.4 | 17,440,989 | 1.3 | 79.2 | 22,010,151 | 1.7 | - |
| 診療外収益 | 3,209,369 | 0.2 | 92.1 | 4,217,052 | 0.3 | 121.0 | 3,329,253 | 0.2 | 95.5 | 3,269,299 | 0.2 | 93.8 | 3,486,275 | 0.3 | 100.0 |
| 雑収益 | 5,915,421 | 0.4 | 62.6 | 7,217,858 | 0.5 | 76.4 | 6,903,637 | 0.5 | 73.1 | 9,143,615 | 0.7 | 96.8 | 9,446,773 | 0.7 | 100.0 |
| 医業外収益合計 | 183,774,789 | 13.4 | 127.0 | 177,385,949 | 13.1 | 122.6 | 174,958,054 | 12.8 | 120.9 | 164,681,333 | 12.3 | 113.8 | 144,739,636 | 11.0 | 100.0 |
| 支払利息及び企業債取扱諸費 | 6,767,990 | 0.5 | 63.4 | 7,767,213 | 0.6 | 72.8 | 8,734,751 | 0.7 | 81.8 | 9,679,694 | 0.8 | 90.7 | 10,675,333 | 0.8 | 100.0 |
| 雑損失 | 0 | - | - | 0 | - | - | 0 | 0.0 | - | 0 | 0.0 | - | 0 | 0.0 | 100.0 |
| 雑支出 | 31,560,780 | 2.4 | 131.0 | 24,441,105 | 1.9 | 101.5 | 32,927,060 | 2.5 | 136.7 | 24,187,441 | 1.9 | 100.4 | 24,085,649 | 1.9 | 100.0 |
| 医業外費用合計 | 38,328,770 | 2.9 | 110.3 | 32,208,318 | 2.5 | 92.7 | 41,661,811 | 3.2 | 119.9 | 33,867,135 | 2.7 | 97.4 | 34,760,982 | 2.8 | 100.0 |
| 経常損益 | 47,171,914 | - | 89.2 | 72,709,703 | - | 137.5 | 62,122,114 | - | 117.5 | 71,169,699 | - | 134.6 | 52,875,092 | - | 100.0 |
| 特別利益 | 0 | 0.0 | - | 0 | 0.0 | - | 0 | 0.0 | - | 0 | 0.0 | - | 0 | 0.0 | - |
| 特別損失 | 0 | 0.0 | - | 0 | 0.0 | - | 0 | 0.0 | - | 0 | 0.0 | - | 0 | 0.0 | - |
| 当年度純損益 | 47,171,914 | - | - | 72,709,703 | - | 137.5 | 62,122,114 | - | 117.5 | 71,169,699 | - | 134.6 | 52,875,092 | - | 100.0 |

※すう勢比率は、平成27年度を100として算定している。

第4表

比較貸借対照表

(単位:円、%)

| 科 目 | 令和元年度 | | | 平成30年度 | | | 平成29年度 | | | 平成28年度 | | | 平成27年度 | | |
|------------------|----------------------|---------------|--------------|----------------------|---------------|--------------|----------------------|---------------|--------------|----------------------|---------------|--------------|----------------------|---------------|--------------|
| | 金 額 | 構成 比率 | すう勢 比率 | 金 額 | 構成 比率 | すう勢 比率 | 金 額 | 構成 比率 | すう勢 比率 | 金 額 | 構成 比率 | すう勢 比率 | 金 額 | 構成 比率 | すう勢 比率 |
| 土 地 | 25,267,235 | 1.7 | 100.0 | 25,267,235 | 1.8 | 100.0 | 25,267,235 | 1.8 | 100.0 | 25,267,235 | 2.0 | 100.0 | 25,267,235 | 2.1 | 100.0 |
| 建 物 | 615,637,329 | 41.0 | 82.9 | 647,268,905 | 45.3 | 87.1 | 679,053,545 | 49.1 | 91.4 | 710,879,785 | 57.5 | 95.7 | 743,038,825 | 62.9 | 100.0 |
| 建物付属設備 | 15,464,059 | 1.0 | 75.0 | 17,109,222 | 1.2 | 83.0 | 19,971,260 | 1.4 | 96.9 | 24,327,048 | 2.0 | 118.0 | 20,620,106 | 1.7 | 100.0 |
| 構 築 物 | 2,335,800 | 0.2 | 52.1 | 2,873,100 | 0.2 | 64.1 | 3,410,400 | 0.2 | 76.0 | 3,947,700 | 0.3 | 88.0 | 4,485,000 | 0.4 | 100.0 |
| 機械及び装置 | 6,407,299 | 0.4 | 45.0 | 9,860,443 | 0.7 | 69.2 | 10,833,559 | 0.8 | 76.1 | 12,083,975 | 1.0 | 84.9 | 14,241,031 | 1.2 | 100.0 |
| 車 輛 運 搬 具 | 3,757,137 | 0.3 | 35.8 | 4,305,051 | 0.3 | 41.1 | 6,016,065 | 0.4 | 57.4 | 8,059,877 | 0.7 | 76.9 | 10,482,132 | 0.9 | 100.0 |
| 医療用機械器具 | 86,399,621 | 5.8 | 193.2 | 34,025,185 | 2.4 | 76.1 | 33,295,460 | 2.4 | 74.4 | 34,056,825 | 2.8 | 76.1 | 44,731,518 | 3.8 | 100.0 |
| その他器具備品 | 78,722,118 | 5.2 | 389.8 | 101,339,883 | 7.1 | 501.8 | 123,591,979 | 8.9 | 611.9 | 21,574,712 | 1.7 | 106.8 | 20,196,805 | 1.7 | 100.0 |
| リ ー ス 資 産 | 146,007 | 0.0 | 22.3 | 146,007 | 0.0 | 22.3 | 227,212 | 0.0 | 34.6 | 426,688 | 0.0 | 65.0 | 656,001 | 0.1 | 100.0 |
| 地 上 権 | 20,067,000 | 1.3 | 100.0 | 20,067,000 | 1.4 | 100.0 | 20,067,000 | 1.5 | 100.0 | 20,067,000 | 1.6 | 100.0 | 20,067,000 | 1.7 | 100.0 |
| 電話加入権 | 63,126 | 0.0 | 100.0 | 63,126 | 0.0 | 100.0 | 63,126 | 0.0 | 100.0 | 63,126 | 0.0 | 100.0 | 63,126 | 0.0 | 100.0 |
| 固定資産合計 | 854,266,731 | 56.9 | 94.5 | 862,325,157 | 60.3 | 95.4 | 921,796,841 | 66.6 | 102.0 | 860,753,971 | 69.6 | 95.2 | 903,848,779 | 76.5 | 100.0 |
| 現 金 預 金 | 456,631,202 | 30.4 | 535.9 | 365,973,976 | 25.6 | 429.5 | 210,676,107 | 15.2 | 247.3 | 169,500,432 | 13.7 | 198.9 | 85,205,235 | 7.2 | 100.0 |
| 未 収 金 | 191,690,132 | 12.8 | 100.0 | 200,921,141 | 14.1 | 104.9 | 250,487,534 | 18.1 | 130.7 | 205,567,975 | 16.6 | 107.3 | 191,613,237 | 16.2 | 100.0 |
| 貸倒引当金 | △ 1,186,229 | △ 0.1 | 111.8 | △ 900,233 | △ 0.1 | 84.8 | △ 826,765 | △ 0.1 | 77.9 | △ 922,533 | △ 0.1 | 86.9 | △ 1,061,461 | △ 0.1 | 100.0 |
| 貯 蔵 品 | 961,785 | 0.1 | 78.1 | 1,077,003 | 0.1 | 87.5 | 1,003,093 | 0.1 | 81.5 | 1,225,287 | 0.1 | 99.5 | 1,231,440 | 0.1 | 100.0 |
| 保管有価証券 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 153,000 | 0.0 | 100.0 | 153,000 | 0.0 | 100.0 |
| 流動資産合計 | 648,096,890 | 43.1 | 233.9 | 567,071,887 | 39.7 | 204.6 | 461,339,969 | 33.4 | 166.5 | 375,524,161 | 30.4 | 135.5 | 277,141,451 | 23.5 | 100.0 |
| 資 産 合 計 | 1,502,363,621 | 100.0 | 127.2 | 1,429,397,044 | 100.0 | 121.0 | 1,383,136,810 | 100.0 | 117.1 | 1,236,278,132 | 100.0 | 104.7 | 1,180,990,230 | 100.0 | 100.0 |
| 企 業 債 | 252,864,173 | 16.8 | 71.9 | 262,959,975 | 18.4 | 74.8 | 324,441,055 | 23.5 | 92.3 | 312,263,973 | 25.3 | 88.8 | 351,509,083 | 29.8 | 100.0 |
| リ ー ス 債 務 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 20,267 | 0.0 | 7.8 | 261,204 | 0.0 | 100.0 |
| 固定負債合計 | 252,864,173 | 16.8 | 71.9 | 262,959,975 | 18.4 | 74.8 | 324,441,055 | 23.5 | 92.2 | 312,284,240 | 25.3 | 88.8 | 351,770,287 | 29.8 | 100.0 |
| 一 時 借 入 金 | 0 | 0.0 | - | 0 | 0.0 | - | 0 | 0.0 | - | 0 | 0.0 | - | 0 | 0.0 | 100.0 |
| 企 業 債 | 67,164,482 | 4.5 | 171.0 | 61,453,426 | 4.3 | 156.4 | 55,144,600 | 4.0 | 140.4 | 39,245,110 | 3.2 | 99.9 | 39,283,900 | 3.3 | 100.0 |
| リ ー ス 債 務 | 51,746 | 0.0 | 17.9 | 51,746 | 0.0 | 17.9 | 72,013 | 0.0 | 25.0 | 292,863 | 0.0 | 101.5 | 288,596 | 0.0 | 100.0 |
| 未 払 金 | 27,642,987 | 1.8 | 131.3 | 23,256,330 | 1.6 | 110.5 | 21,317,096 | 1.5 | 101.3 | 21,746,313 | 1.8 | 103.3 | 21,051,859 | 1.8 | 100.0 |
| 預り有価証券 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 153,000 | 0.0 | 100.0 | 153,000 | 0.0 | 100.0 |
| 引 当 金 | 57,021,000 | 3.8 | 115.8 | 57,760,000 | 4.0 | 117.3 | 52,758,000 | 3.8 | 107.1 | 54,974,000 | 4.4 | 111.6 | 49,252,000 | 4.2 | 100.0 |
| その他流動負債 | 7,780,701 | 0.5 | 147.6 | 7,169,040 | 0.5 | 136.0 | 5,919,306 | 0.4 | 112.3 | 5,026,108 | 0.4 | 95.3 | 5,272,140 | 0.4 | 100.0 |
| 流動負債合計 | 159,660,916 | 10.6 | 138.5 | 149,690,542 | 10.5 | 129.8 | 135,211,015 | 9.8 | 117.3 | 121,437,394 | 9.8 | 105.3 | 115,301,495 | 9.8 | 100.0 |
| 長 期 前 受 金 | 442,890,329 | 29.5 | 99.5 | 443,359,329 | 31.0 | 99.6 | 442,473,329 | 32.0 | 99.4 | 446,664,329 | 36.1 | 100.4 | 445,038,809 | 37.7 | 100.0 |
| 長期前受金収益化 計 | △ 267,931,172 | △ 17.8 | 104.4 | △ 258,222,263 | △ 18.1 | 100.6 | △ 242,203,347 | △ 17.5 | 94.4 | △ 273,634,295 | △ 22.1 | 106.6 | △ 256,613,306 | △ 21.7 | 100.0 |
| 繰延収益合計 | 174,959,157 | 11.6 | 92.9 | 185,137,066 | 13.0 | 98.3 | 200,269,982 | 14.5 | 106.3 | 173,030,034 | 14.0 | 91.8 | 188,425,503 | 16.0 | 100.0 |
| 負 債 合 計 | 587,484,246 | 39.1 | 89.6 | 597,787,583 | 41.8 | 91.2 | 659,922,052 | 47.7 | 100.7 | 606,751,668 | 49.1 | 92.6 | 655,497,285 | 55.5 | 100.0 |
| 固 有 資 本 金 | 14,808,000 | 1.0 | 100.0 | 14,808,000 | 1.0 | 100.0 | 14,808,000 | 1.1 | 100.0 | 14,808,000 | 1.2 | 100.0 | 14,808,000 | 1.3 | 100.0 |
| 組 入 資 本 金 | 31,770,000 | 2.1 | 100.0 | 31,770,000 | 2.2 | 100.0 | 31,770,000 | 2.3 | 100.0 | 31,770,000 | 2.6 | 100.0 | 31,770,000 | 2.7 | 100.0 |
| 出 資 金 | 1,464,585,628 | 97.5 | 110.3 | 1,428,487,628 | 99.9 | 107.5 | 1,392,802,628 | 100.7 | 104.9 | 1,361,236,628 | 110.1 | 102.5 | 1,328,372,628 | 112.5 | 100.0 |
| 資本金合計 | 1,511,163,628 | 100.6 | 109.9 | 1,475,065,628 | 103.2 | 107.3 | 1,439,380,628 | 104.1 | 104.7 | 1,407,814,628 | 113.9 | 102.4 | 1,374,950,628 | 116.4 | 100.0 |
| 補 助 金 | 34,073,811 | 2.3 | 100.0 | 34,073,811 | 2.4 | 100.0 | 34,073,811 | 2.5 | 100.0 | 34,073,811 | 2.8 | 100.0 | 34,073,811 | 2.9 | 100.0 |
| 寄 附 金 | 1,887,798 | 0.1 | 100.0 | 1,887,798 | 0.1 | 100.0 | 1,887,798 | 0.1 | 100.0 | 1,887,798 | 0.2 | 100.0 | 1,887,798 | 0.2 | 100.0 |
| 資本剰余金合計 | 35,961,609 | 2.4 | 100.0 | 35,961,609 | 2.5 | 100.0 | 35,961,609 | 2.6 | 100.0 | 35,961,609 | 2.9 | 100.0 | 35,961,609 | 3.0 | 100.0 |
| 当年度末処理 欠 損 金 | △ 632,245,862 | △ 42.1 | 71.4 | △ 679,417,776 | △ 47.5 | 76.7 | △ 752,127,479 | △ 54.4 | 84.9 | △ 814,249,593 | △ 65.9 | 92.0 | △ 885,419,292 | △ 75.0 | 100.0 |
| 利益剰余金合計 | △ 632,245,862 | △ 42.1 | 71.4 | △ 679,417,776 | △ 47.5 | 76.7 | △ 752,127,479 | △ 54.4 | 84.9 | △ 814,249,593 | △ 65.9 | 92.0 | △ 885,419,292 | △ 75.0 | 100.0 |
| 剰 余 金 合 計 | △ 596,284,253 | △ 39.7 | 70.2 | △ 643,456,167 | △ 45.0 | 75.7 | △ 716,165,870 | △ 51.8 | 84.3 | △ 778,287,984 | △ 63.0 | 91.6 | △ 849,457,683 | △ 71.9 | 100.0 |
| 資 本 合 計 | 914,879,375 | 60.9 | 174.1 | 831,609,461 | 58.2 | 158.3 | 723,214,758 | 52.3 | 137.6 | 629,526,644 | 50.9 | 119.8 | 525,492,945 | 44.5 | 100.0 |
| 負債資本合計 | 1,502,363,621 | 100.0 | 127.2 | 1,429,397,044 | 100.0 | 121.0 | 1,383,136,810 | 100.0 | 117.1 | 1,236,278,312 | 100.0 | 104.7 | 1,180,990,230 | 100.0 | 100.0 |

※すう勢比率は、平成27年度を100として算定している。

第 5 表

經 營 指 標

| 区 分 | 積 算 内 容 | R1 | H30 | H29 | H28 | H27 |
|---------------------|--|--------|--------|--------|--------|--------|
| 総収支比率(%) | 総収益 1,369,953,601 | 103.6 | 105.7 | 104.8 | 105.6 | 104.2 |
| | 総費用 1,322,781,687 | | | | | |
| 医業収支比率(%) | 医業収益 1,186,178,812 | 92.3 | 94.2 | 94.4 | 95.2 | 95.3 |
| | 医業費用 1,284,452,917 | | | | | |
| 経常収支比率(%) | $\frac{\text{医業収益} + \text{医業外収益}}{\text{医業費用} + \text{医業外費用}} \times 100$ | 103.6 | 105.7 | 104.8 | 105.6 | 104.2 |
| 他会計繰入金対総収益比率(%) | 他会計繰入金(損益勘定分) 198,481,000 | 14.5 | 14.0 | 13.9 | 13.1 | 11.2 |
| | 総収益 1,369,953,601 | | | | | |
| 自己資本構成比率(%) | 資本金+剰余金+繰延収益 1,089,838,532 | 72.5 | 71.1 | 66.8 | 64.9 | 60.5 |
| | 負債+資本 1,502,363,621 | | | | | |
| 流動比率(%) | 流動資産 648,096,890 | 405.9 | 378.8 | 341.2 | 309.2 | 240.4 |
| | 流動負債 159,660,916 | | | | | |
| 固定比率(%) | 固定資産 854,266,731 | 78.4 | 84.8 | 99.8 | 107.3 | 126.6 |
| | 資本金+剰余金+繰延収益 1,089,838,532 | | | | | |
| 固定資産対長期資本比率(%) | 固定資産 854,266,731 | 63.6 | 67.4 | 73.9 | 77.2 | 84.8 |
| | 資本金+剰余金+固定負債+繰延収益 1,342,702,705 | | | | | |
| 累積欠損金比率 | 累積欠損金 632,245,862 | 53.3 | 57.6 | 63.2 | 69.2 | 75.6 |
| | 医業収益 1,186,178,812 | | | | | |
| 病床利用率(%) | 年延入院患者数 16,180 | 81.9 | 79.5 | 81.7 | 81.0 | 83.5 |
| | 年延病床数 19,764 | | | | | |
| 平均在院日数(一般病床) | 年延入院患者数(一般) 11,841 | 19.2 | 19.7 | 19.7 | 17.3 | 18.4 |
| | (入院患者数+退院患者数)÷2 617 | | | | | |
| 平均通院回数 | 年延外来患者数 38,604 | 31.9 | 16.6 | 26.0 | 25.3 | 16.7 |
| | 新患者数 1,211 | | | | | |
| 1日平均患者数 | 入院(人) 年延入院患者数 16,180 | 44.2 | 43.0 | 44.1 | 43.7 | 45.1 |
| | 入院診療日数 366 | | | | | |
| 外来(人) | 年延外来患者数 38,604 | 158.9 | 156.6 | 152.2 | 155.7 | 145.2 |
| | 外来診療日数 243 | | | | | |
| 外来入院患者比率(%) | 年延外来患者数 38,604 | 238.6 | 243.7 | 229.6 | 237.1 | 213.1 |
| | 年延入院患者数 16,180 | | | | | |
| 職員1人1日当たり患者数(医師) | 入院 年延入院患者数 16,180 | 6.3 | 7.2 | 7.4 | 7.3 | 7.5 |
| | 年延職員数 2,562 | | | | | |
| | 外来 年延外来患者数 38,604 | 22.7 | 26.1 | 25.4 | 25.9 | 24.2 |
| | 年延職員数 1,701 | | | | | |
| 職員1人1日当たり患者数(看護部門) | 入院 年延入院患者数 16,180 | 0.9 | 0.8 | 0.8 | 0.9 | 1.0 |
| | 年延職員数 19,032 | | | | | |
| | 外来 年延外来患者数 38,604 | 3.1 | 2.9 | 2.8 | 3.1 | 3.1 |
| | 年延職員数 12,636 | | | | | |
| 患者1人1日当たり診療収入 | 入院収益+外来収益 744,061,881 | 13,582 | 13,269 | 13,813 | 13,812 | 14,337 |
| | 年延入院患者数+年延外来患者数 54,784 | | | | | |
| | 入院 入院収益 440,018,831 | 27,195 | 26,832 | 27,331 | 27,512 | 27,220 |
| | 年延入院患者数 16,180 | | | | | |
| 外来 外来収益 304,043,050 | 7,876 | 7,704 | 7,924 | 8,033 | 8,291 | |
| 年延外来患者数 38,604 | | | | | | |

| 区 分 | 積 算 内 容 | R1 | H30 | H29 | H28 | H27 | | |
|-------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 職員1人1日当たり 診療収入 | 入院収益＋外来収益 | 744,061,881 | 16,395 | 15,799 | 15,698 | 16,415 | 16,998 | |
| | 年延職員数 | 45,384 | | | | | | |
| | 医師 | 入院収益＋外来収益 | 744,061,881 | 290,422 | 326,506 | 334,892 | 339,237 | 337,127 |
| | | 年延職員数 | 2,562 | | | | | |
| 看護部門 | 入院収益＋外来収益 | 744,061,881 | 39,095 | 36,278 | 36,534 | 40,708 | 43,037 | |
| | 年延職員数 | 19,032 | | | | | | |
| 患者1人1日当たり 薬品費 | 薬品費 | 51,425,202 | 712 | 682 | 700 | 647 | 715 | |
| | 年延入院患者数＋年延外来 患者数＋年延入所者数 | 72,262 | | | | | | |
| | 投薬 | 投薬薬品費 | 13,482,014 | 187 | 242 | 260 | 198 | 239 |
| | | 年延入院患者数＋年延外来 患者数＋年延入所者数 | 72,262 | | | | | |
| | 注射 | 注射薬品費 | 37,943,188 | 525 | 440 | 441 | 448 | 476 |
| | | 年延入院患者数＋年延外来 患者数＋年延入所者数 | 72,262 | | | | | |
| 薬品使用効率 | 投薬 | 投薬薬品収入 | 11,166,604 | 82.8 | 69.4 | 89.5 | 94.6 | 104.1 |
| | | 投薬薬品費 | 13,482,014 | | | | | |
| | 注射 | 注射薬品収入 | 41,650,303 | 109.8 | 113.2 | 107.9 | 107.6 | 106.2 |
| | | 注射薬品費 | 37,943,188 | | | | | |
| 診療収入に対する 割合 (%) | 投薬注射 | 投薬薬品収入＋注射薬品収入 | 52,816,907 | 7.1 | 6.7 | 6.8 | 6.4 | 7.0 |
| | | 入院収益＋外来収益 | 744,061,881 | | | | | |
| | 検査 | 検査収入 | 85,670,884 | 11.5 | 11.5 | 10.7 | 11.7 | 11.8 |
| | | 入院収益＋外来収益 | 744,061,881 | | | | | |
| | 放射線 | 放射線収入 | 46,858,134 | 6.3 | 6.4 | 6.1 | 6.5 | 6.5 |
| | | 入院収益＋外来収益 | 744,061,881 | | | | | |
| 検査等の 状況 | 患者100人 当たり検査 件数 | 年間検査件数 | 64,947 | 89.9 | 86.3 | 87.4 | 93.5 | 92.4 |
| | | 年延入院患者数＋年延外来 患者数＋年延入所者数 | 72,262 | | | | | |
| | 患者100人 当たり放射 線件数 | 年間放射線件数 | 11,017 | 15.2 | 14.5 | 14.6 | 15.7 | 16.6 |
| | | 年延入院患者数＋年延外来 患者数＋年延入所者数 | 72,262 | | | | | |
| | 検査技師 1人当たり 検査件数 | 年間検査件数 | 64,947 | 21,649.0 | 20,618.3 | 20,618.3 | 22,023.7 | 21,135.7 |
| | | 年度末検査技師数 | 3 | | | | | |
| | 検査技師 1人当たり 検査収入 | 検査収入 | 85,670,884 | 28,557千円 | 27,334千円 | 26,063千円 | 28,998千円 | 29,233千円 |
| | | 年度末検査技師数 | 3 | | | | | |
| | 放射線技師 1人当たり 放射線件数 | 年間放射線件数 | 11,017 | 5,509 | 5,181 | 5,181 | 5,561 | 5,683 |
| | | 年度末放射線技師件数 | 2 | | | | | |
| | 放射線技師 1人当たり 放射線収入 | 放射線収入 | 46,858,134 | 23,429千円 | 22,817千円 | 22,466千円 | 24,138千円 | 24,006千円 |
| | | 年度末放射線技師件数 | 2 | | | | | |
| 室料差 額(%) | 対入院 収 益 | 室料差額収入 | 5,476,708 | 1.2 | 1.3 | 1.2 | 1.3 | 1.3 |
| | | 入院収益 | 440,018,831 | | | | | |
| | 対総収益 | 室料差額収入 | 5,476,708 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.5 |
| | | 総収益 | 1,369,953,601 | | | | | |
| 病床100床当たり 職員数 | 年度末(各種)職員数 | 124 | 119.2 | 119.2 | 123.1 | 119.2 | 114.4 | |
| | 許可病床数＋入所定員数 | 104 | | | | | | |
| 医業収 益に対 する割 合 (%) | 医 療 材 料 費 | 医療材料費 | 90,326,931 | 7.6 | 7.4 | 7.3 | 7.2 | 7.5 |
| | | 医業収益 | 1,186,178,812 | | | | | |
| | 職 員 給 与 費 | 職員給与費 | 815,795,961 | 68.8 | 66.3 | 68.0 | 66.9 | 65.5 |
| | | 医業収益 | 1,186,178,812 | | | | | |

※ 総務省・自治体病院経営指標に基づき算出したものである。

第 6 表

企業債償還元金及び利子所要額表

| 年度 別 | 各年度末未償還元金 | 各年度償還元利所要額 | | |
|---------|-------------|------------|-----------|------------|
| | | 元 金 | 利 子 | 計 |
| 元 | 320,028,655 | 55,584,746 | 6,767,990 | 62,352,736 |
| 2 | 256,496,060 | 63,532,595 | 5,751,352 | 69,283,947 |
| 3 | 196,714,238 | 59,781,822 | 4,738,644 | 64,520,466 |
| 4 | 143,407,163 | 53,307,075 | 3,731,333 | 57,038,408 |
| 5 | 98,710,562 | 44,696,601 | 2,694,963 | 47,391,564 |
| 6 | 58,333,785 | 40,376,777 | 1,668,336 | 42,045,113 |
| 7 | 27,203,211 | 31,130,574 | 863,557 | 31,994,131 |
| 8 | 12,196,246 | 15,006,965 | 465,259 | 15,472,224 |
| 9 | 0 | 12,196,246 | 192,426 | 12,388,672 |